令和7年度第2回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

配付資料

0	令	和7	年度	きほ	勢	計志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿	•••••	Р	1
0	[資	料	1]	令和7年度第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要	•••••	Р	2
0	[資	料	2]	県立高等学校(全日制)の学級数の状況	•••••	Р	4
0	[資	料	3]	伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の学級数の推移(H23~R8)	•••••	Р	5
0	[資	料	4]	県立高等学校(全日制)の学科の配置状況(令和8年度)	•••••	Р	6
0	[資	料	5]	学校施設の老朽化の状況	•••••	Р	7
				 .	+8	次则/第1司伊劫士麻地建立筑设计次线性小批准执送人 国分次	l/31 \		
						資料(第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会配付資料)	科)~~′	_	_
	1	円 掲	負	料丨	1	伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況	•••••	Р	8
	Ī	再掲	資制	炓 2	2	伊勢志摩地域 中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)	•••••	P 1	C
	[i	再掲	資制	料 3]	伊勢志摩地域の中学校卒業者数と			
						県立高等学校入学定員(全日制)の推移と予測	• • • • • • • •	P 1	1
	Ιį	再掲	資制	料 4	.]	伊勢志摩地域および松阪地域の			
						高等学校等の学科・コースについて(令和8年度)	•••••	P 1	2
	[i	再掲	資制	料 5	5]	伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート結果について	•••••	P 1	3
	[i	再掲	資制	料 6]	令和5年度の協議(今後の学びと配置のあり方について)	•••••	P 1	8
	[i	再掲	資制	料 7	']	次期「県立高等学校活性化計画」の策定に向けた動きについて	•••••	P 2	1
	[i	再掲	資制	料8	3]	市町別の中学校卒業者進学先の状況	•••••	P 2	2
	[i	再掲	資制	料 9]	伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の交通手段等	•••••	P 2	3
	[Ŧ	再掲	資料	∤1 C]	伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)のスクールポリシー	•••••	P 2	5
	[Ŧ	再掲	資料	ļ11]	伊勢志摩地域の県立高校(全日制)卒業生の進路状況	•••••	Р3	С
	[Ŧ	再掲	資料	∤ 12	2]	学校規模と教育環境について	•••••	P 3	1
	[Ŧ	再掲	資料	ļ13	3]	これまでの県立高等学校(全日制)の再編について	•••••	Р3	3
	[Ŧ	再掲	資料	14]	令和22年度までの伊勢志摩地域の			
						県立高等学校(全日制)の総学級数と当協議会の協議について	•••••	P 3	4

令和7年度 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会委員 名簿

N o		所属及び名前	本年度 出席委員
1	学識経験者	三重大学 教育学部 教授 田中 伸明	0
2		伊勢商工会議所 常務理事 中本 龍二	0
3	地域有識者	鳥羽商工会議所 専務理事 清水 清嗣	0
4	7.60次/月100日	志摩市商工会 常務理事 西尾 新	0
5		度会町商工会 事務局長 山本 雄紀	0
6		伊勢市教育委員会 教育長 小林 貴法	0
7		鳥羽市教育委員会 教育長 岩本 和也	0
8	市町教育委員会 教育長	志摩市教育委員会 教育長 舟戸 宏一	0
9		度会町教育委員会 教育長 中村 武弘	0
10		南伊勢町教育委員会 教育長 劒山 成実	0
11	県立高等学校長代表	県立伊勢工業高等学校 校長 奥山 敦弘	0
12	-小中学校長代表 -小中学校 P T A代表	伊勢市立二見中学校 校長 中西 祐一	_
13		鳥羽市立鳥羽東中学校 校長 山下 幸也	0
14		志摩市立磯部中学校 校長 助田 宏樹	_
15		大紀町立大宮中学校 校長 作野 順也	0
16		伊勢市PTA連合会 代表 西城 宏樹	0
17		鳥羽市PTA連合会 代表 東谷 俊介	0
18		志摩市PTA連合会 代表 西世古 真一	0
19		度会郡PTA連絡協議会 代表 山上 美穂	0
20	高等学校PTA代表	南勢地区高等学校PTA連合会 代表 尾崎 佳奈	0
21	小中学校教職員代表	伊勢市立修道小学校 教諭 黒坂 泰之	0
22	4 1 1 1V-3V-1947×1 (3X)	大紀町立大宮中学校 教諭 糸川 明道	0
23	高等学校教職員代表	県立伊勢まなび高等学校 教諭 大西 孝明	0

令和7年度第1回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の概要

- 1 日時 令和7年7月28日(月)19時00分から21時00分まで
- 2 場所 伊勢市生涯学習センターいせトピア 3階 研修室1・2
- 3 概要

令和10年度に想定される3学級程度の学級減への具体的な対応方針について、今年度中に方向性をまとめる必要があることから、これまでの協議を整理した「学びと配置のあり方の方向性」をふまえつつ、1学年あたりの総学級数が11~14学級程度となる「15年先の学びと配置の将来像(案)」について協議しました。 主な意見は次のとおりです。

<主な意見>

(学びのあり方について)

- 人間関係を構築する力を身につけるためには人数が多い方が望ましいと思う一方で、中学校で不登校だった生徒や学習でつまずいた生徒が小規模の高校に入学し、生き生きと学校生活を送っている姿を見ると、小規模の高校も必要ではないかと感じる。(作野委員)
- 地元で活躍する人材を育成する観点も含め、子どもたちの将来の夢の実現のためにも多様な選択肢があり、その中から自ら選び学べる環境があることが大切である。そのためにも地域の高校の存続は必要である。(黒坂委員)
- 地域の学びの選択肢をできる限り維持するために、総合学科の今後のあり方について検 討していく必要がある。(奥山委員)
- 子どもが進学や就職など多様な進路を自ら考え、選択していけるような新しい時代の学 びにふさわしい学級編制のあり方も考えながら議論を進める必要がある。(中村委員)
- 職業高校において、ICTを活用してオンラインによる座学と対面による実習を組み合わせるなどすれば、通学時間に関する課題をカバーできるのではないか。(西尾委員)
- 高校の特色化・魅力化を進めるうえでは、地域の子どもたちから選ばれるという観点に加え、地域の産業界から求められるという観点も必要ではないかと感じている。(奥山委員)
- 雇用する側は、コミュニケーションがとれる人材、やる気のある人材を求めており、その2つをもっている生徒は就職してからの伸びも大きいと感じている。このことは学校教育においても重要な観点となるのではないか。(西尾委員)
- これだけ広い地域で3校程度に集約するとなると、通学時間や費用の課題が大きくなると考えられる。また、どの業界も人材不足が大きな問題となっており、15年先はより厳しくなることが予測される。こうした中、地域学習の一環として、高校生と地域の事業者との交流会を実施するなど、産業界としても高校生が地域に根付くような活動により一層、注力していきたい。(山本委員)
- 県外の大学へ進学すると地元へ戻らない生徒も多い中、工業高校を卒業した生徒は地元に定着してくれる貴重な人材として、企業側も年数をかけて大切に育成している。鳥羽商船高専にある学びとの重なりも意識して工業系の学びを配置する必要がある。一方、商業高校については、約6割が四年制大学へ進学していることから、今後普通科に集約されるのではないかと感じている。こうしたことから将来的に14学級で3校に集約されるというのは、現実的な姿だと理解している。(清水委員)

(配置のあり方について)

- 誰一人取り残さない教育の実現のためにも、一人ひとりのニーズにあった学校の配置が 必要である。(黒坂委員)
- 統合は合理化のためではなく、子どもたちにとって魅力ある学校としていくために進めることが大切である。また、既存の高校のあり方をベースに考えるのではなく、例えば目指すべき教育が25人や30人であれば実現可能ではないかという視点で考えてみてもよいのではないか。(劒山委員)
- 私立高校の授業料無償化による影響をふまえ、校舎の新設や改修などにより、県立高校の魅力を高める必要がある。特に工業科では、基本的な知識・技術が身についていても、 就職後に最新の設備の取扱いでつまずくこともあるため、施設・設備の更新が一刻も早く 実現することを望んでいる。(奥山委員)
- 協働的な学びと個別最適な学びを高校生に提供していくためには、校舎制を採用したり、 複数校を教員が行き来して授業を行ったりするなど、フレキシブルに考えていくことが必 要である。(劒山委員)
- 15年先の配置については3校に絞るといった発想ではなく、市町を越えたエリアでどのような学びを提供していくのかを中心に置きながら、校舎制を採用したり、老朽化が進んでいるのであればどこかに集約して新築したりするなど、フレキシブルに考えていきたい。(中村委員)
- 令和22年度の将来像を3校程度と想定すると議論はしやすくなるが、3校に集約するという話が独り歩きすると、これまで大切にしてきた「伊勢市内の高等学校の再編」と「小規模校のあり方」についての議論が意味をなさなくなってしまうのではないか。(舟戸委員)
- 私立高校普通科の学級数を勘案しながら、今後、県立高校が14学級程度となったとき に必要な学科が一体何なのかや、学科をどのように集約させていくのか等について、もっ と高校現場の意見を聞きながら協議を進めていきたい。(舟戸委員)
- 配置を考える上では、通学時間や費用の観点から、通学する子どもだけでなく保護者の 思いにも配慮する必要がある。(黒坂委員)
- 中学校では部活動の地域展開や生徒減により学校における活動が縮小している。こうした中、部活動は生徒のニーズが高く、輝く場ではあるものの、「部活動の活性化の観点から、1学年4学級以上が望ましい」として高校の再編を考えるのは厳しいのではないか。(作野委員)
- 15年先を見据えて、そこから逆算しながら、令和10年度やその先に想定される学級 減への対応を考える手法は正しいが、その15年先の高校配置のグランドデザインを県が 主導して打ち出していく必要があるのではないか。(奥山委員)

(今後の協議会の進め方について)

○ 次回は、これまでの意見をふまえた当協議会のまとめ案を事務局から提示してもらい、 令和10年度やその先に想定される学級減への対応について、さらに協議を進めていきた い。(田中会長)

資料2

(1)平成23年度

1 1%20											
地域名	入学定員 (H23.3卒業者数)					40人ベースの学級	数数				学校数
地域石	(H23.3卒業者数)	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	子权奴
桑名	1,400 (2,229)				桑名工業(工)		桑名北(普)		桑名西(普) いなべ総合学園 (総)	桑名(普·看·理)	5校 (35学級
四日市	3,080 (3,762)				菰野(普)		朝明(普) 四日市農芸 (農・家) 四日市中央工業 (工)	四日市四郷(普)四日市商業(商)	川越(普·外) 四日市南(普) 四日市西(普) 四日市工業(工)	四日市(普)	11校 (77学級
鈴鹿亀山	1,440 (2,456)				飯野(外・他)	石薬師(普)	稲生(普·体) 亀山(普·家·情)	白子(普•家)	神戸(普·理)		6校 (36学級
津	2,160 (2,987)			白山(普·商)		津工業(工)	久居農林(農·家)	津商業(商) 久居(普)	津東(普)	津(普) 津西(普·他)	8校 (54学級
松阪	1,200 (1,962)		飯南(総) 昴学園(総)			松阪商業(商·他)	松阪工業(工)	相可(普・農・家)	松阪(普•理)		6校 (30学編
伊勢志摩	1705 (2,704)			南伊勢(普) 志摩(普) 水産(水)	鳥羽(総)	伊勢工業(工) 宇治山田商業(商) 明野(農・家・福)		宇治山田(普)	伊勢(普)		9校 (43学編
伊賀	1,320 (1,742)		あけぼの学園(総)			名張(総)	名張桔梗丘(普) 名張西(普·工·外)	上野(普·理) 伊賀白鳳 (農·工·商·福)			6校 (33学編
東紀州	360 (447)			紀南(普)			木本(普·総)	尾鷲(普・エ・商)			3校 (16学績
学	校数	0校 (0学級)	3校 (6学級)	5校 (15学級)	4校 (16学級)	7校 (35学級)	11校 (66学級)	10校 (70学級)	10校 (80学級)	4校 (36学級)	54校 (324学

- 【備考】 〇 学科名略称:(普)普通科(普通科におけるコース制を含む)、専門学科[(農)農業、(エ)工業、(商)商業、(水)水産、(家)家庭、(看)看護、(情)情報、(福)福祉、(理)理数、(体)体育、(外)外国語、(他)その他専門学科(国際科学、国際教養、応用デザイン)」、(総)総合学科 〇 校舎制の南伊勢高校は、南勢校舎2学級・皮会校舎1学級となっています。 〇 1学級40人ベースの学級数を記載していますが、30人・35人学級の実施により水産高校は3学級105人として募集しています。



ᄁᄱ유	· /文										
地域名	入学定員 (R8.3卒業見込者数)					40人ベースの学級	数				学校数
地域石	(R8.3卒業見込者数)	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	子仪蚁
桑名	1,160 (1,924)				桑名北(普) 桑名工業(工)		桑名西(普)	いなべ総合学園 (総)	桑名(普·看·理)		5校 (29学級)
四日市	2,480 (3,440)			朝明(普•福)	四日市四郷(普) 菰野(普)	四日市西(普) 四日市農芸 (農·家) 四日市中央工業 (工)	四日市商業(商)	川越(普·他) 四日市工業(工)	四日市(普) 四日市南(普)		11校 (62学級)
鈴鹿亀山	1,120 (2,258)		石薬師(普)		稲生(普·体) 飯野(外·他)	亀山(普·家·情)	白子(普•家)	神戸(普•理)			6校 (28学級)
津	1,840 (2,552)		白山(普·商)		久居(普)		津東(普) 津工業(工) 津商業(商) 久居農林(農・家)		津(普) 津西(普·他)		8校 (46学級)
松阪	1,000 (1,810)		飯南(総) 昴学園(総)		松阪商業(商)	松阪工業(工) 相可(普·農·家)		松阪(普•理)			6校 (25学級)
伊勢志摩	1,120 (1,718)	南伊勢 度会校舎(普) 鳥羽(総) 志摩(普)	水産(水)		宇治山田(普) 伊勢工業(工) 宇治山田商業 (商) 明野(農・家・福)			伊勢(普)			9校 (28学級)
伊賀	920 (1,368)	あけぼの学園(総)				名張青峰(普) 名張(総)	上野(普・理) 伊賀白鳳 (農・エ・商・福)				5校 (23学級)
東紀州	360 (447)				尾鷲(普・エ・商)	熊野青藍 木本校舎(普·総) 紀南校舎(総)					2校 (9学級)
学	校数	4校 (4学級)	5校 (10学級)	1校 (3学級)	13校 (52学級)	9校 (45学級)	9校 (54学級)	6校 (42学級)	5校 (40学級)	0校 (0学級)	52校 (250学級)

- 【備考】 学科名略称:(普)普通科(普通科におけるコース制、学際領域学科など普通教育を主とする学科を含む)、専門学科[(農)農業、(エ)工業、(商)商業、(水)水産、(家)家庭、(看)看護、 (情)情報、(福)福祉、(理)理数、(休)体育、(外)外国語、(他)その他専門学科(国際探究、国際科学、応用デザイン)]、(総)総合学科 校舎制の熊野青藍高校は、木本校舎4学級・紀南校舎1学級となっています。 1学級40人ペースの学級数を記載していますが、30人・35人学級の実施により伊賀白鳳高校は7学級240人、尾鷲高校は5学級160人として募集しています。

資料3

伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の学級数の推移(H23~R8)

(1) 伊勢志摩地域の学級数の推移

	アカルシーチャビッダッノ 丁言 メダッノコエイダ															1		
校	(株名・学科)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	Н30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8/H23
	普通科・普通科系専門学科	21	21	21	21	20	20	20	20	19	17	16	16	16	14	14	13	61.9%
	職業系専門学科	18	19	18	18	17	17	17	16	15	15	14	14	15	14	14	14	77.8%
-,-	総合学科	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	25.0%
	学級数合計	43	44	42	42	40	39	39	38	36	34	32	32	33	56	56	28	65.1%
	前年度比(増減)		$\triangle 1$	▼ 2		▼ 2	▼ 1		▼ 1	▼ 2	▼ 2	▼ 2	,	\triangle 1	▼ 4		▼ 1	▼ 15
	明野(農業・家庭・福祉)	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	80.0%
	字治山田(普通)	7	2	7	7	9	9	9	9	9	9	2	2	2	2	2	4	57.1%
仆	伊勢(普通・その他)	8	8	8	8	8	8	8	8	2	2	2	2	2	2	2	7	87.5%
校	字治山田商業(商業)	2	9	2	2	2	2	5	2	2	2	4	4	2	4	4	4	80.0%
云	伊勢工業(工業)	2	2	5	5	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	80.0%
盐	南伊勢(普通)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	33.3%
隶	鳥羽(総合)	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	25.0%
	志摩 (普通)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	33.3%
	水産(水産)	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	%L 99

(2) 三重県の学級数の推移

	一手ボジナ版教ジルが																	
业	年度 学科(地域の高校)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	Н30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R8/H23
	普通科·普通科系専門学科	200	201	201	204	193	195	189	188	177	173	164	166	159	156	150	145	72.5%
	職業系専門学科	97	66	86	66	86	96	96	92	93	91	98	87	88	87	87	87	89.7%
	総合学科	27	27	25	24	24	24	23	23	23	21	21	21	21	20	21	20	74.1%
	学級数合計	324	327	324	327	315	315	308	306	293	285	271	274	897	263	822	252	77.8%
	前年度比(増減)		$\triangle 3$	▼ 3	$\triangle 3$	▼ 12		7 🔻	▼ 2	▼ 13	8	▼ 14	$\triangle 3$	9 🛦	4 5	4 5	9 🛦	▼ 72
	普通(宇治山田・伊勢・南伊勢・志摩)	182	183	183	186	175	178	172	171	160	156	147	150	144	141	135	130	71.4%
	農業(明野)	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	13	13	13	13	13	13	86.7%
	工業(伊勢工業)	39	40	40	40	40	39	39	38	38	37	35	35	35	35	35	35	89. 7%
	商業(宇治山田商業)	27	28	26	27	27	97	56	56	25	24	22	23	24	23	23	23	85.2%
3	水産(水産)	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	%L 99
件 4	家庭(明野)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	100%
本 🗈	看護	1	1	1	ī	П	П	1	1	I	1	1	1	1	1	1	1	100%
二	「青幸阪	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	100%
工工	福祉(明野)	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	150%
	理数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	2	2	116.7%
	体育	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	50.0%
	英語	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	40.0%
	その他(伊勢)	2	2	2	2	2	2	5	2	2	2	2	4	4	4	2	2	100%
	総合学科(鳥羽)	27	27	25	24	24	24	23	23	23	21	21	21	21	20	21	20	74.1%

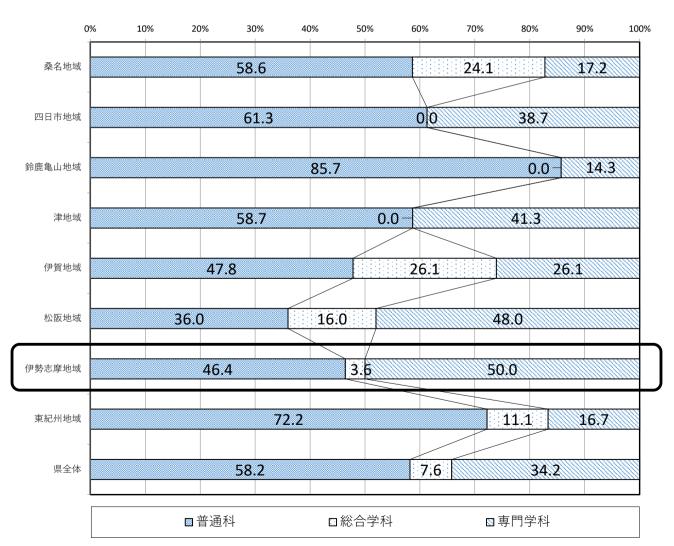
県立高等学校(全日制)の学科の配置状況(令和8年度)

資料4

1 普通科、専門教育を主とする学科、総合学科の定員

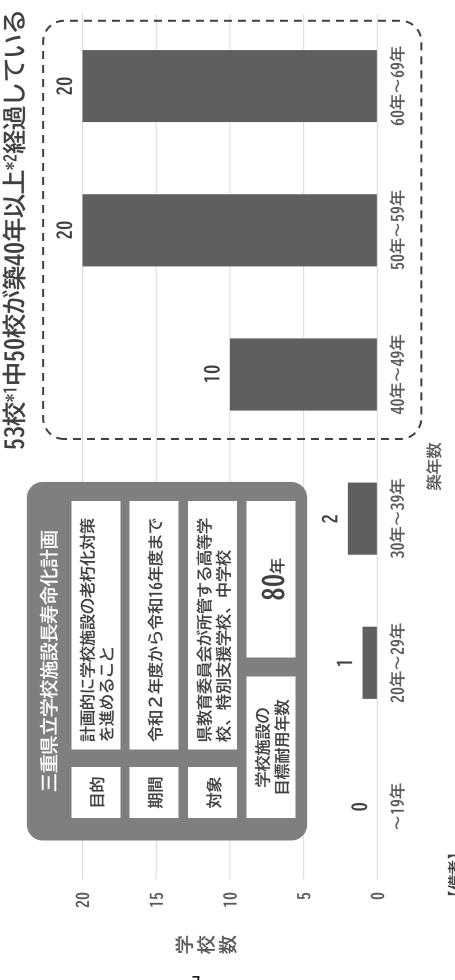
	定員	普通科	総合学科			車	門教育	を主と	する学	科		
		自进行	祁口子件	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	計
桑名	1, 160	680	280		160				40			200
未也	1, 100	58.6%	24.1%		13.8%				3.4%			17.2%
四日市	2, 480	1,520		120	480	240		80		<u> </u>	40	960
	2,400	61.3%		4.8%	19.4%	9.7%		3.2%			1.6%	38. 7%
鈴鹿亀山	1, 120	960						80		80		160
如此电口	1, 120	85.7%						7.1%		7.1%		14.3%
津	1 840	1,080		160	240	280		80				760
/ F	1,040	58.7%		8. 7%	13.0%	15. 2%		4. 3%				41.3%
松阪	1 000	360	160	80	200	160		40				480
1五19久	1,840	36.0%	16.0%	8.0%	20.0%	16.0%		4.0%				48.0%
伊勢志摩	1, 000	520	40	80	160	160	80	40			40	560
ア労心手	1, 120	46.4%	3.6%	7. 1%	14.3%	14. 3%	7.1%	3.6%			3.6%	50.0%
伊賀	920	440	240	70	105	30					35	240
ア貝	920	47.8%	26.1%	7.6%	11.4%	3.3%					3.8%	26. 1%
東紀州	360	260	40		30	30						60
未心[71]	300	72. 2%	11.1%		8.3%	8.3%						16.7%
県全体	10,000	5,820	760	510	1, 375	900	80	320	40	80	115	3, 420
米土 体	10,000	58. 2%	7.6%	5.1%	13.8%	9.0%	0.8%	3. 2%	0.4%	0.8%	1.2%	34. 2%

※普通科には普通科系専門学科を含む



学校施設

学校施設の老朽化の状況



熊野青藍高等学校については、木本高等学校及び紀南高等学校と同一の校舎であるため、学校数に含めていない。 各県立高等学校(全日制)の主たる校舎の築年数(令和7年4月1日時点) ~ × * ×

伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況 1 令和7年3月卒・現高1 (1)全日制

PR6.12時点の進学 R6.12時点の進学 前 ・コース 入学定員 希望者数 定員との差 募集人数 志願者数	R6.12時点の進学 希望者数 志願え	員との差 募集人数 志願者	員との差 募集人数 志願者	志願者	志願者	前期選抜等 音数 志調	頁倍率	合格內定者数	募集人数	後期選抜 志願者数 志	該財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財財	合格者数	募集定員	再募集志願者数	合格者数	入学者数	久員
	生産科学	40	46	9	20	47	2.35	22	18	18	1.00	18	0	0	0	40	0
	食品科学	40	38	▲ 2	20	34	1. 70	22	18	16	0.89	18	0	0	0	40	0
明野	生活教養	40	51	11	20	20	2. 50	22	18	23	1. 28	18	0	0	0	40	0
	福祉	40	33	∠ ◀	20	33	1. 65	22	18	17	0.94	17	-	2	_	40	0
	志	160	168	8	80	164	2.05	88	72	74	1.03	71	-	2	-	160	0
H-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	- 東東	200	201	-	09	178	2.97	99	134	142	1.06	134	0	0	0	200	0
HHUL	計	200	201	1	09	178	2.97	99	134	142	1.06	134	0	0	0	200	0
	票	240	224	● 16	I	Ι	ı	I	240	212	0.88	240	0	0	0	240	0
伊勢	国際科学コース	40	61	21	_	_	_	-	40	73	1.83	40	0	0	0	40	0
	盂	280	285	2	-	1	1	1	280	282	1.02	280	0	0	0	280	0
	商業	80	102	22	40	93	2.33	44	36	43	1.19	36	0	0	0	08	0
10分二日相	情報処理	40	38	▲ 2	20	38	1. 90	22	18	18	1.00	18	0	0	0	40	0
米四田田田子	国際	40	38	▲ 2	20	34	1. 70	22	18	16	0.89	18	0	0	0	40	0
	盂	160	178	18	80	165	2.06	88	72	11	1.07	72	0	0	0	160	0
	機械	80	80	0	40	9/	1.90	44	36	39	1.08	36	0	0	0	08	0
(中数 一 禁	電気	40	37	► 3	20	36	1.80	22	18	17	0.94	18	0	0	0	40	0
张 十 米	建築	40	39	- ◀	20	39	1.95	22	18	14	0. 78	14	4	2	4	40	0
	丰	160	156	▶ 4	80	151	1.89	88	72	70	0.97	89	4	2	4	160	0
南伊勢	- 東悪	40	32	9 ▼	20	34	1. 70	22	18	10	0.56	10	8	3	3	32	▶ 5
(度会校舎)	丰	40	35	▼ 5	20	34	1. 70	22	18	10	0. 56	10	8	3	3	35	▲ 5
4	総合学科	40	31	6 ▼	20	32	1. 60	22	18	12	0.67	11	7	8	7	40	0
	丰	40	31	6 ▼	20	32	1. 60	22	18	12	0.67	11	7	8	7	40	0
性	- 東悪	40	18	▲ 22	20	17	0.85	17	23	2	0.22	2	18	3	3	25	▲ 15
	丰	40	18	▲ 22	20	11	0.85	17	23	2	0. 22	2	18	3	3	25	▲ 15
	海洋・機関	40	50	▲ 11	20	32	1. 75	22	18	13	0.72	13	2	0	0	32	▼ 5
大	水産資源	40	13	▲ 27	20	15	0. 75	15	25	0	0.00	0	25	0	0	15	▲ 25
	丰	80	42	₹ 38	40	20	1. 25	37	43	13	0.30	13	30	0	0	20	▲ 30
伊勢志摩地域	(全日制) 計	1, 160	1, 114	₹ 46	400	791	1.98	428	732	889	0.94	664	89	21	18	1, 110	▲ 50
	1																

^{※「12}月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

(2) 定時制

中回		▲ 13		№ 36	79 ▼
小小大	ハナ甘然			4	53
	合格者数	0 0 27	4 19 1 22	0	-
再募集	志願者数		1	0	1
	募集定員	3 13	19	36	89
	合格者数	3	4	-	8
後期選抜	志願倍率	3 0.19	4 0.17	0.03	0.11
後期	志願者数	3	4	-	8
	募集人数	16	23	37	9/
(合格内定者数	24 16			44
段:特別選拔	志願倍率	1.30 0.75	0.85 0.00	0. 15 0. 00	_
前期選抜等 (下	志願者数	26 3	17 0	0 3	49
崩	募集人数	20 (特別) 4			72
進学	定員との差	25 ▲ 15	16 🔺 24	▲ 37	97 ▲
R6.12時点の進学	希望者数	25	16	S	44
III 小	ハイルス	40	40	40	120
歩利・コース	ī	普通 (午前の部)			藲
沙林夕	TXT-		伊勢まなび	4	

※「12月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

2 令和6年3月卒・現高2 (1) 全日制

[が来り出って 10日	近世		歌曲宗	湿片体			※ 出源件	井台			五首作			
呼校名	が ・ コース	入学定員	NO.12mg/点页	/ 進子		\$ I	-			1久朔,	芸 1次			1 米米		入学者数	久冒
I		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	希望者数	定員との差	募集人数	志願者数	志願倍率	合格内定者数	募集人数	志願者数	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数	I	
	生産科学	40	42	7		45	2. 25	22	18	19	1.06	17	-	0	0	40	0
	食品科学	40	38	▲ 2	20	38	1. 90	22	18	12	0.67	12	9	2	2	36	▲ 4
明野	生活教養	40	47	7	20	45	2. 25	22	18	20	1.11	18	0	0	0	40	0
	福祉	40	29	▲ 11	20	28	1. 40	22	18	12	0.67	14	4	-	-	37	▶ 3
	盂	160	156	₹	08	156	1.95	88	72	63	0.88	19	11	3	က	153	7 ▲ 7
日 :: *	最通	200	194	9 ▼	09	176	2.93	99	134	127	0.95	127	7	2	4	197	▲ 3
日日日	盂	200	194	9 ▼	09	176	2. 93	99	134	127	0.95	127	7	5	4	197	₹ 3
	- 東東	240	219	▲ 21	I	ı	I	I	240	208	0.87	240	0	0	0	240	0
争勢	国際科学コース	40	26	16	I	I	I	I	40	79	1.98	40	0	0	0	41	0
	盂	280	275	9 ▼	I	ı	ı	ı	280	287	1.03	280	0	0	0	281	0
	商業	80	87	7	40	87	2. 18	44	36	43	1.19	36	0	0	0	80	0
计分二日报	情報処理	40	45	2	20	41	2.05	22	18	23	1. 28	18	0	0	0	41	0
十百日日三米	国際	40	39	▲	20	38	1.90	22	18	17	0.94	18	0	0	0	40	0
	福	160	171	11	80	166	2. 08	88	72	83	1.15	72	0	0	0	161	0
	機械	80	9/	7 ▼	04	70	1. 75	44	36	30	0.83	30	9	3	3	77	► 3
年報工業	電気	40	19	▲ 21	20	19	0.95	19	21	5	0. 24	4	17	2	2	26	▲ 14
光十米	建築	40	25	▲ 15		28	1. 40	22	18	10	0.56	10	8	2	2	34	9 ◀
	盂	160	120	▼ 40	80	1117	1.46	82	75	45	09 :0	44	31	7	7	137	▲ 23
南伊勢	票	40	13	∠ 2 ▼	20	6	0.45	6	31	4	0.13	4	27	0	0	13	▲ 27
(度会校舎)	丰	40	13	1 2 ▼	70	6	0.45	6	31	4	0.13	4	27	0	0	13	▲ 27
<u> </u>	総合学科	40	44	7	20	44	2. 20	22	18	20	1.11	18	0	0	0	40	0
	盂	40	44	4	20	44	2. 20	22	18	20	1.11	18	0	0	0	40	0
*	票	40	31	6 ▼	20	33	1.65	22	18	10	0.56	10	8	-	-	33	7 ▲
	丰	40	31	6 ▼	70	33	1.65	22	18	10	0. 56	10	8	1	1	33	7 ▲ 7
	海洋・機関	40	32	8 ▼	20	33	1.65	22	18	14	0. 78	14	4	1	_	37	▶ 3
大量	水産資源	40	23	▲ 17	20	23	1.15	21	19	5	0. 26	5	14	0	0	26	▲ 14
	丰	80	22	▲ 25	40	26	1.40	43	37	19	0.51	19	18	1	1	63	▲ 17
伊勢志摩地域	(全日制) 計	1, 160	1, 059	101 ▼	400	757	1.89	423	737	829	0.89	635	102	17	16	1, 078	▶ 84

(2) 定時制

か目	K <	8 ◀			▶ 58
が水米	Ή Ή	32	27		62
	合格者数	1	2		4
再募集	志願者数	1			4
	募集定員	6		38	62
	合格者数	10			15
巽抜	志願倍率	0. 53	0.25		0.19
後期選抜	志願者数	10	2	0	15
	募集人数	19		38	11
	合格内定者数	21		2	43
段:特別選抜)	志願倍率	1. 25 0. 25	1. 00 0. 00	0. 10 0. 00	I
前期選抜等(下戶	志願者数	25 1	20 0	2 0	48
前	募集人数	20 (特別) 4	20 (特別) 4	20 (特別) 4	72
進学	定員との差	▲ 13		№ 36	17 ▲
R5.12時点の進学	希望者数	27	18	4	49
小小小田	ハナル河	40	40		120
学科・コース	ī	普通 (午前の部)	普通 (午後の部)	J H ⊗	盂
学校夕	₹		伊勢まなび		

[※]入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは、追検査による合格者等を含むため

※「12月時点の進学希望者数」は、県内の国公私立中学校3年生を対象に実施した調査結果による。

伊勢志摩地域 中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)

R 5.3 R 6.3 本業 1,126 97 44 -15	p 7 3	6 8 d								
24 4			R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3	R 16.3
	- 本業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
Т	975 1,029	966	1,019	826	891	942	668	864	782	863
	.51 54	-33	23	-61	29-	51	-43	98-	-82	81
		-33	-10	-71	-138	-87	-130	-165	-247	-166
337 311	11 321	262	293	272	276	273	288	244	528	231
22 –2	-26 10	-24	4-	-21	4	-3	15	-44	15	-28
		-24	-28	-49	-45	-48	-33	LL-	-62	06-
122 10	106 119	109	86	66	110	88	101	98	64	98
-21 -1	-16 13	-10	-11	1	11	-22	13	91–	6	8-
		-10	-21	-20	6-	-31	-18	-34	-25	-33
340 33	335 284	316	301	242	287	280	251	246	211	203
1	-5 -51	32	-15	-29	45	L-	-29	9-	-35	8-
		32	17	-42	3	-4	-33	86-	-73	-81
1,925 1,72	727 1,753	1,718	1, 711	1,571	1,564	1,583	1, 539	1, 439	1, 346	1,383
46 -15	98 861	-35	2-	-140	L-	19	-44	-100	-63	37
		-35	-42	-182	-189	-170	-214	-314	-407	-370
16,055 15,891	91 15,718	15,517	15, 261	14,807	14, 345	14,044	14,030	13, 399	12, 753	12, 408
-189 -16	-164 -173	-201	-256	-454	-462	-301	-14	-631	-646	-345
		-201	-457	-911	-1,373	-1,674	-1,688	-2,319	-2,865	-3,310

【県立高校(全日制)】

※ ∀		185	225	342	334	欠員数※	
	(252)	(258)	(263)	(268)	(274)	(学級数)	県内合計
	10,000	10,240	10,440	10,640	10,880	入学定員	
		20	84	120	130	欠員数※	
	(28)	(53)	(53)	(33)	(32)	(学級数)	小計
	1,120	1,160	1,160	1,320	1,280	入学定員	
		20	51	117	129	欠員数※	
	(5)	(5)	(2)	(8)	(8)	(学級数)	伊勢市以外
	200	200	007	320	350	入学定員	
		0	33	3	1	欠員数※	
	(23)	(24)	(24)	(25)	(24)	(学級数)	伊勢市内
	920	096	096	1,000	096	入学定員	

Κ員数は、学科・コースごとの欠員のみを積み上げた数値

【私立高校(全日制)、高専】

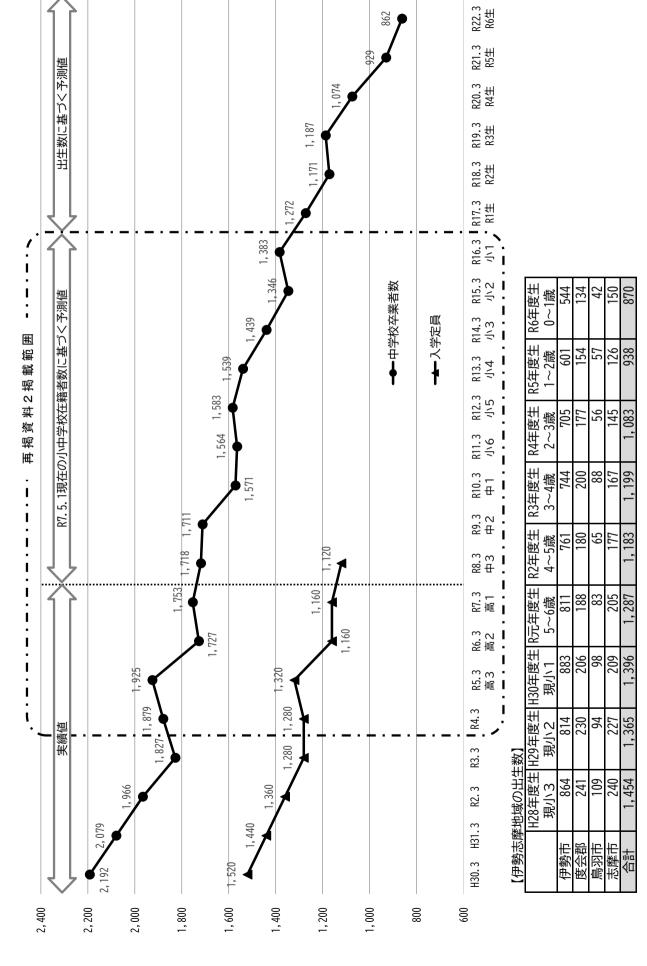
*	_	15	$\triangle 5$	$\triangle 71$	$\triangle 82$	は (合計)	3校の欠員数
*	I	141	122	120	120	入学者数	
	140	140	120	120	120	入学定員	自河路外
	ı	208	260	289	274	入学者数	¥
	230	230	230	230	230	入学定員	田 宗 地
	1	321	288	327	353	入学者数	ii iii
	315	315	315	315	315	入学定員	白題給
	令和8年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度		

(参考)

欠員数の(△)は、定員を超過した入学者数を示す。

令和7年度入学者数は、各校ホームページの記載人数を転記

伊勢志摩地域の中学校卒業者数と県立高等学校入学定員(全日制)の推移と予測



再掲資料4

伊勢志摩地域および松阪地域の高等学校等の学科・コースについて(令和8年度)

		<u> </u>	トルナン	, , , , ,									
•	市場 工学	宇治山田高校	普通科	160		普通科	普通科	普通科	普通科				
=\	県立 伊勢高校		幸通科	280		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	国際科学コース	M M
	県立 伊勢コ	伊勢工業高校	車門学科	160		機械科	機械科	電気科	建築科				普通科 13 専門学科 14
伊勢士	県立 字治山	宇治山田商業高校	車門学科	160		商業科	商業科	情報処理科	国際科				(工業4) (西業4)
l	県立 明野高校	当校	車門学科	160	1,120	生産科学科	食品科学科	生活教養科	福祉科				(課業2)
	県立 南伊勢	南伊勢高校度会校舎	普通科	40		普通科						伊勢志摩地域日海共和東	(((((((((((((((((((
	県立 鳥羽膏	羽高校	総合学科	40		総合学科					± ‰	中子校华来自数 R8.3卒 1,718人	(小年2)総合学科
	県立 志摩高校	当校	普通科	40		普通科							
	県立 水産高校	雪校	神学門	80		海洋·機関科	水産資源科						
HC-	私立 皇学館	皇学館高校	普通科	315	E 4 E	普通科:315人、	、進学コース・特別進学コース	特別進学コース					
114-	私立 伊勢学	伊勢学園高校	普通科	230	646	普通科:230人、	特別進学コース・ジ	:230人、特別進学コース・選択コース(情報ビジネス・生活デザイン・進学)・看護医療コース	ジネス・生活デサ	・イン・進学)・看護	医療コース		
) 定時	〇定時制課程	県立 伊勢まなび高校	高校	120 人		普通科:午前のものづくり工学を	普通科:午前の部40人、午後の部40人 ものづくりエ学科:夜間部40人)部40人					
〇通信制	課程	私立 英心高校(伊勢本校) 私立 代々木高校	伊勢本校)	80 人 1,000 人		普通科:(全日3 普通科:(通学=	普通科:(全日型、水曜、土曜の各コース) 普通科:(通学コース、通信一般コース等)	り各コース) _ひ コース等)					
) 即領	〇高等専門学校	国立 鳥羽商船高等学校	5等学校	140 人		商船学科(40)、	情報機械シスラ	商船学科(40)、情報機械システム工学科(100)					

Ä
#

		თ	0 _		`~'	4	
	金25学級	普通科	専門学科 1 (工業 5	(西珠4)	医家 3不足。	表 小 本	
	理数科			松阪地域	平子校平来自数 R8.3卒 1,810人		
	理数科				· œ		
	普通科	電気工学科		_	食物調理科		
	性 要是	 	国際ビジネス科		環境創造科		: 530Å
	普通科	繊維デザイン科	総合ビジネス科		生産経済科		特進コース、六年制): 5
	普通科	機械科	総合ビジネス科	環境、介護福祉 学、コンピュータ	普通科	地域探究、総合スポーツ 美術工芸、生活福祉、環境技術	学コース、特進コーフ
	性 更是	村二業化学科	総合ビジネス科	郷土·環境 総合進学、	普通科	地域探究、// 美術工芸、生活	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
定員			5	,000			530
入学定	280	200	160	80	200	80	530
大学科	普通科	車門学科	車門学科	総合学科	普通科 専門学科	総合学科	普通科
学校名	松阪高校	松阪工業高校	松阪商業高校	飯南高校	相可高校	昴学園高校	三重高校
	一首	県立	山中	県立	県立	県立	私立
		ź	夜雨	型 域 全	十日	ままる	<u> </u>

(令和4年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会で実施・集計)

伊勢志摩地域の県立高校に関するアンケート結果について

1 中学生を対象としたアンケート結果

A 学びについて

(高校を選ぶとき、学習面で重視すること)

・「進学や就職など多様な進路に応じた学習の選択ができること」(45.1%)、「就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる」(29.3%)、「大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる」(25.6%)の順となっている。

(高校を選ぶとき、学校生活全般で重視すること)

•「文化祭や体育祭などの学校行事」(66.5%)、「確かな学力を身につける授業」(65.5%) に続いて、「多くの友だちや先生と出会える」(55.9%)、「通学のしやすさ」(54.2%) を重視している。

(高校に期待する教育)

・「自分の将来を選択する力が身につく教育」(75.3%)をはじめ、「社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育」(64.3%)、「基本的な知識が身につく教育」(58.6%)、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育」(58.3%)を期待している。

B 学級の規模について

- ・選んだ生徒が多い順に「3~4学級」(49.0%)、「1~2学級」(25.8%)、「5~6学級」(21.1%)、「7学級以上」(4.0%) となっている。
- ・生徒の多くが学びたい学級規模に関係なく、選んだ理由を「**友だちや先輩、先生など、 多くの出会いがあると思うこと」**(50.5%)としている。

C 通学時間について

・選んだ生徒が多い順に「31~60 分」(52.7%)、「30 分以内」(26.3%)、「61~90 分」(16.6%)、「91~120 分」(2.8%)、「121 分以上」(1.6%) となっている。

D 高校での地域の学習について

・選んだ生徒が多い順に「別の分野について」(37.2%)、「高校が所在する市町」(31.9%)、「伊勢志摩地域全体」(30.3%) となっている。

E 将来生活する場所について

・「まだ、決まっていない。わからない」(34.8%)が最も多く、続いて、「県外」(23.5%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻りたい」(16.4%)、「地元」(13.5%)となっている。

2 保護者を対象としたアンケート結果

A 学びについて

(高校を選ぶとき、学習面で重視すること)

・「進学や就職など多様な進路に応じた学習の選択ができること」(63.0%) に続いて、「大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる」(21.4%)、「就職につながる専門的な知識や技能、資格が習得できる」(14.4%) となっている。

(高校を選ぶとき、学校生活全般で重視すること)

・「確かな学力を身につける授業」(67.8%)をはじめ、「通学のしやすさ」(61.9%)、「多くの友だちや先生と出会える」(57.2%)、「一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育」(51.1%)を重視している。

(高校に期待する教育)

・「社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育」(73.5%)をはじめ、「進路選択の力を育む教育」(63.6%)、「社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につけることができる教育」(63.3%)、「主体的に学び続ける力を育む教育」(59.0%)を期待している。

B 15年先の伊勢志摩地域の県立高校のあり方について

・今後の伊勢志摩地域の高校について、「一定の統合は避けられない」(52.2%) が最も 多く、続いて、「統合は避けるべき」(29.3%)、「必要な統合を進めるべき」(12.2%) となっている。

C 通学時間について

・選んだ保護者が多い順に、「31~60分」(62.9%)、「30分以内」(19.1%)、「61~90分」(13.6%)、「91~120分」(1.9%)、「121分以上」(0.4%)となっている。

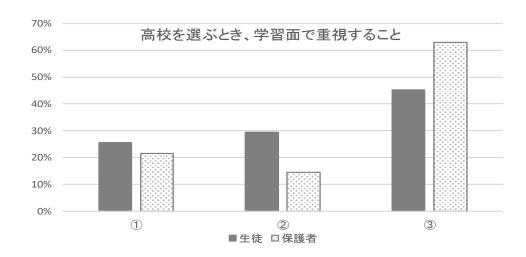
D 将来生活する場所について

・「本人の希望次第」(68.7%) が最も多く、続いて、「地元」(11.2%)、「一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい」(8.1%) となっている。

3 生徒と保護者の回答の比較 (中学生 1,538 人、保護者 1,391 人)

(1) 高校を選ぶとき学習面で重視すること(回答は1つ、() は各回答者数に対する割合)

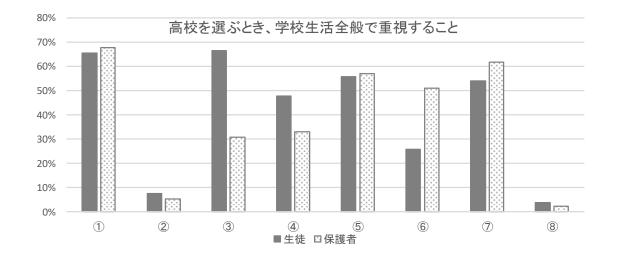
項目	生徒	保護者
①大学進学につながる学力向上を目指した学習ができる	393 (25.6%)	298 (21.4%)
②就職につながる専門的な知識や技能、資格が取得できる	451 (29.3%)	200 (14.4%)
③進学や就職など多様な進路に応じた学習を選択することができる	694 (45.1%)	876 (63.0%)



(2) 高校を選ぶとき学校生活全般で重視すること

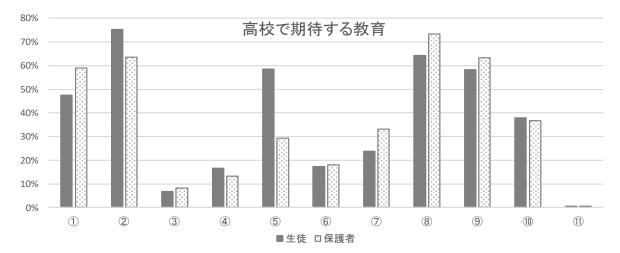
(回答は4つ以内、()は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①確かな学力を身につける授業が充実している	1007 (65.5%)	943 (67.8%)
②地域に密着した活動がある	117 (7.6%)	75 (5.4%)
③文化祭や体育祭などの学校行事が充実している	1023 (66.5%)	429 (30.8%)
④入りたい部活動がある	735 (47.8%)	460 (33.1%)
⑤多くの友だちや先生と出会うことが期待できる	859 (55.9%)	795 (57.2%)
⑥一人ひとりに目が行き届きやすく、きめ細かな教育が期待できる	398 (25.9%)	711 (51.1%)
⑦通学しやすい	833 (54.2%)	861 (61.9%)
⑧その他	59 (3.8%)	32 (2.3%)



(3)入学する高校に期待する教育(回答は5つ以内、())は各回答者数に対する割合)

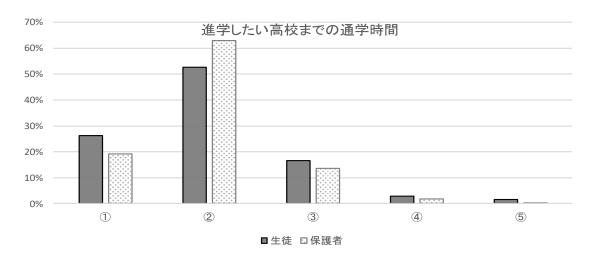
項目	生徒	保護者
①自ら学び続ける力が身につく教育	731 (47.5%)	820 (59.0%)
②自分の将来を選択する力が身につく教育	1158 (75.3%)	885 (63.6%)
③地域について学ぶ教育	103 (6.7%)	116 (8.3%)
④人権に対する意識が高まる教育	257 (16.7%)	185 (13.3%)
⑤基本的な知識が身につく教育	901 (58.6%)	408 (29.3%)
⑥ICTを積極的に活用する教育	267 (17.4%)	252 (18.1%)
⑦広く世界で活躍できる力が身につく教育	366 (23.8%)	462 (33.2%)
⑧社会性や協調性、コミュニケーション能力が身につく教育	989 (64.3%)	1022 (73.5%)
⑨社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育	897 (58.3%)	880 (63.3%)
⑩特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育	584 (38.0%)	511 (36.7%)
⑪その他	10 (0.7%)	9 (0.6%)



(4) 進学したい高校までの通学時間はどれくらいまでなら可能か。

(回答は1つ、()は各回答者数に対する割合)

項目	生徒	保護者
①30 分以内	405 (26.3%)	266 (19.1%)
②31~60分	811 (52.7%)	875 (62.9%)
③61~90分	255 (16.6%)	189 (13.6%)
④91~120分	43 (2.8%)	27 (1.9%)
⑤121 分以上	24 (1.6%)	6 (0.4%)



4 アンケート結果より

- (1) 学び等、高校で重視したいこと
 - (ア)中学生、保護者の少なくとも一方の割合が60%以上の項目(3選択肢から1つ選択)
 - ①**進学や就職など多様な進路に応じた学習**を選択できる教育

中学生 694 人 (45.1%) 保護者 876 (63.0%)

(イ) 中学生、保護者の少なくとも一方の割合が50%以上の項目

(8選択肢から4つまで選択、11選択肢から5つまで選択)

(1)自分の将来を選択する力が身につく教育

中学生 1158 人 (75.3%) 保護者 885 人 (63.6%)

②社会性や協調性、コミュニケーション能力を育む教育

中学生 989 人 (64.3%) 保護者 1022 人 (73.5%)

③確かな学力を身につける授業が充実している

中学生 1007 人 (65.5%) 保護者 943 人 (67.8%)

④文化祭や体育祭などの学校行事が充実している

中学生 1023 人 (66.5%) 保護者 429 人 (30.8%)

⑤社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育

中学生 897 人 (58.3%) 保護者 880 人 (63.3%)

⑥通学しやすい

中学生 833 人 (54.2%) 保護者 861 人 (61.9%)

※通学時間は、中学生と保護者とも「31~60分」が最も多く選ばれている

⑦**自ら学び続ける力**が身につく教育

中学生 731 人 (47.5%) 保護者 820 人 (59.0%)

⑧基本的な知識が身につく教育

中学生 901 人 (58.6%) 保護者 408 人 (29.3%)

⑨多くの友だちや先生と出会うことが期待できる

中学生 859 人 (55.9%) 保護者 795 人 (57.2%)

⑩一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が期待できる

中学生 398 人 (25.9%) 保護者 711 人 (51.1%)

※地域学習について

・高校を選ぶときに重視すること:地域に密着した活動がある

中学生 117 人 (7.6%) 保護者 75 人 (5.4%)

・期待する教育:地域について学ぶ教育

中学生 103 人 (6.7%) 保護者 116 人 (8.3%)

・高校での地域の学習について

中学生: 進学した高校が所在する市町について学んでみたい 490 人 (31.9%)

: 伊勢志摩地域全体のことについて学んでみたい 466 人 (30.3%)

(2)配置について

(ア) 中学生が望む高校の学級規模とその理由

・規模 ① **3 ~ 4 学級** 754 人(**49.0%**) ② 1 ~ 2 学級 397 人(25.8%)

③5~6学級325人(21.1%)

④ 7 学級以上 62 人(4.0%)

・理由 ①**多くの出会い** 776 人 (**50.5%**) ②関係の深まり 381 人 (24.8%)

③多様な選択 216 人(14.0%) ④一人ひとりへのサポート 124 人(8.1%)

⑤その他 41 人 (2.7%)

(イ) 保護者が考える 15 年先の伊勢志摩地域における高校のあり方の方向性

①一定の統合は避けられない 726 人 (**52.2%**)

②統合は避けるべき 408人(29.3%)

③必要な統合を進めるべき 170人(12.2%) ※無回答 87 人 (6.3%)

令和5年度の協議(今後の学びと配置のあり方について)

(これまでの経緯)

- 本協議会は、平成 17 年に、伊勢志摩地域における高等学校の特色化・魅力化を図り、 生徒にとって魅力ある学習環境を整備するため設置されました。
- 本協議会では、令和4年度に協議のまとめを策定し、令和6年度の生徒減への対応の考え方を取りまとめました。令和5年度についても、引き続き、県立高等学校活性化計画 (R4~R8)(以下、「計画」という。)に基づき、伊勢志摩地域の高等学校の学びと配置のあり方についての協議を継続しているところです。

(基本的な考え方)

- 令和4年度の当地域の出生数は、前年度と比較して116人少ない1,083人となり、この子どもたちが高校へ入学する令和20年度の当地域の1学年の総学級数は、令和6年度入学生の29学級から11~14学級程度減少し、15~18学級程度となることが見込まれます。
- 当協議会は、少子化が一層進む中、当地域の高校の活性化について、令和4年度にまとめた「現在の9校の配置のままでは当地域の高校生に必要な学びを提供していくことが難しいことから、統合も含めた活性化が必要」、「専門学科の学びの選択肢や普通科の一定規模の維持を基本として対応する」をふまえ、スケジュール感に注意して協議を重ねていきます。

(専門学科・総合学科について)

- 伊勢志摩地域は自然豊かで歴史も古く、県内でも有数の観光地を有しています。また、 水産業をはじめ、地域特有の産業も多く存在しています。
- こうしたことも背景にして、伊勢志摩地域には多様な職業系専門学科(農業、工業、商業、家庭、福祉、水産)が設置されており、卒業生の多くがこの地域の産業を支えているため、各学科・コースの学びの選択肢はできる限り維持することが望ましいと考えます。
- 一方、今後の中学校卒業者数の減少を考えると、地域内だけでは多様な学びの選択肢の維持が難しくなることから、生徒の地域間の移動状況もふまえ、これまでより広い地域を視野に入れた議論が必要になると考えます。また、この場合、生徒や保護者の通学に関する負担が増すことが想定されるため、支援などの議論も必要となります。
- また、令和6年度には当地域の総合学科が1学級となることから、総合学科の特色である「幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視する」との視点から、当地域における総合学科のあり方や活性化について議論が必要です。

(普通科について)

- 当地域では、地域全体に普通科が配置され、それぞれが特色のある多様な学びを提供し、 生徒の進学や就職のニーズに応えてきました。
- 少子化の進行により、それぞれの学校の規模も徐々に小さくなり、やむを得ず募集停止となる学校もあるなど、地域の高校の維持が難しい状況となっています。しかし、今後も、進学や就職など多様なニーズに応える普通科の学びの機会を確保していく必要があります。

- このことについては、引き続き、通信制高校のサテライト教室の設置や遠隔授業の活用などの方策を幅広に議論することが必要です。
- 一方、普通科高校には、国公立大学や難関私立大学への進学ニーズに応える役割もあり、 こうした普通科高校が当地域に少なくとも1校は必要です。
- 進学ニーズに応える普通科高校は、各教科に配置できる教員数を勘案すると、英語、数学、国語において各学年を複数の教員が担当し、理科、地理歴史・公民において専門性の高い教員を各科目に配置できる1学年8学級規模が望ましいところです。また、地域全体の学級数が減少する中、やむを得ず学校規模を縮小する場合も、1学年6学級を下回らないよう一定規模を維持することが望ましいと考えます。

(部活動)

○ 地域の生徒や保護者のニーズが高い部活動については、各学校において特色ある活動を 展開していますが、県立高校の部活動の設置数や生徒の部活動への参加状況は、学校規 模と相関関係が見られるため、部活動の活性化の視点から1学年4学級以上が望ましい と考えます。

(1学年1~2学級の小規模校について)

- 当地域ではこれまで、高校の小規模化が進む中、特に地域に所在する学校を中心に、関係する市町が学校と連携して生徒の学びを支えてきました。
- 前計画 (H29~R3) では、地方創生の考え方をふまえ、高校と地域や産業界が協力した取組を進める中、特に、小規模校においては学校ごとに市町関係者や地元産業界などで構成する協議会を設置し、学校の活性化に取り組みました。
- 対象となる学校では、地域の協力を得て「地域を学びの場とした学校独自の協働的な学習」に取り組むことにより、生徒の地域への理解が深まりました。また、継続的な習熟度別の学習指導等による基礎学力の定着や地域の支援を受けた学習等を通じ、生徒の進路実現が図られました。
- 一方で、地域の中学校卒業者の大幅な減少の影響もあり、地元への就職者数は減少する とともに、小規模校全体の入学者数と定員充足率は活性化取組前よりも低下しました。
- 現在、当地域では、現計画 (R4~R8) においても、引き続き、学校と地域が連携して小規模校における学びの充実に取り組んでいますが、地域の少子化はより進行しており、学校規模はより小さくなるだけでなく、やむを得ず募集停止となった校舎もあります。
- また、令和6年度に1学年1学級となる学校では、教科指導の充実や部活動の活性化がより厳しくなることが想定されますが、地域全体で学校を支えながら、小規模校のメリットを生かして、できる限り子どもたちに魅力ある学びを提供していく必要があります。
- 令和4年度の当協議会のまとめでは、「令和6年度の生徒減については、学級減で対応することが望ましい」としましたが、今後も続く段階的な生徒減に対しては、令和6年度に1学年1学級となる3校の役割や教育実践を注視しながら、引き続き、地域全体の活性化を協議する中で、小規模校の統合も含めた今後のあり方について議論を進める必要があります。
- なお、現計画では、他の高校では担うことが難しい県内唯一の学科を有する水産高校について、引き続き、活性化に取り組むとされています。令和6年3月には新実習船「しろちどり」が竣工されますが、一方で、令和元年度以降5年連続して欠員を生じており、特に地域外からの入学者の増加に向けたさらなる取組が必要です。

(今後の協議の進め方)

- 今後も当地域では少子化が進行し、令和8年度に1学級、令和10年度に3~4学級、令和13~15年度に3~5学級程度の減が見込まれています。これらの学級減に対し、高校の統合を含めた対応を行う場合は、中学生の進路選択への影響等を勘案すると、遅くともその3年前までには、教育委員会において方針を定めることが求められます。そのため、令和10年度の学級減への対応については令和7年度までに、令和13~15年度の学級減への対応については令和10年度までに、当協議会としての方向性をまとめる必要があります。
- なお、専門高校間の統合など、大規模な施設・設備の整備が必要となる統合については、 工期の確保はもとより、予算やそれにつながる学校のコンセプトの議論に係る時間も必 要となるため、遅くとも4年前までには結論を出す必要があります。
- これからも現計画のもと、当協議会では引き続き、「現在の9校の配置のままでは当地域の高校生に必要な学びを提供していくことが難しいことから、統合も含めた活性化が必要」、「専門学科の学びの選択肢や普通科の一定規模の維持を基本として対応する」を基本として協議を進めることとします。
- また、少子化の進行と現在の高校の状況をふまえ、学校個別ではなく、伊勢志摩地域全体を見渡して、「伊勢市内の高校の再編」と「小規模校のあり方」の2つの視点から高校の活性化について協議を進めるとともに、現在の協議が令和9年度からの次期計画につながることも意識しながら、これからの子どもたちのための伊勢志摩地域の学びと配置のあり方について協議を重ねていきます。

次期「県立高等学校活性化計画」の策定に向けた動きについて

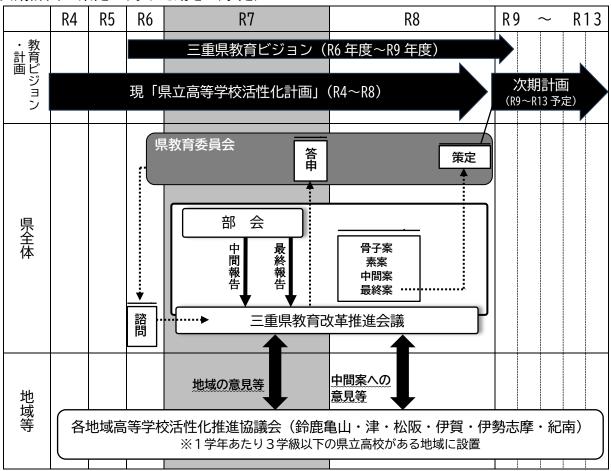
1 三重県教育改革推進会議における審議

現行の県立高等学校活性化計画(以下、「計画」という。)は令和4年から令和8年が計画期間となっていることから、県教育委員会の附属機関である三重県教育改革推進会議(以下「推進会議」という。)の審議を経て、次期計画を令和8年度末に策定します。

令和7年3月に開催された推進会議では、県教育委員会教育長から次期計画の策定に係る県立高校の学び並びに規模及び配置のあり方について諮問され、令和8年3月31日までに報告されることとなっています。

また、その審議については、推進会議に設置された専門的な調査研究を行うための部会(「県立高等学校の在り方調査研究部会」)において、今年度集中的に審議されることとなっています。

2 次期計画の策定に向けた動き(予定)



※令和7年度の推進会議(全体会)は2回程度、部会は4回程度の開催見込み

								伊勢志	摩地域														
	卒業					県立高校						私立	高校・国立	高専		地域内	松阪	油		周山利	地域外 合計	その他	수計
	者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内合計	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		92	187	87	74	79		1	2			152	79										
R7.3卒	1,029			519			10	,	3	12	544	23	31	32	263	807	51	12	3	75	141	81	1,029
				50.4%			1.0%	0.	3%	1.2%	52.9%	22.	4%	3.1%	25.6%	78.4%	5.0%	1.2%	0.3%	7.3%	13.7%	7.9%	100%
		81	174	63	76	70		0	3			129	108										
R6.3卒	975			464			12	ć	3	2	481	23	37	34	271	752	73	14	8	40	135	88	975
				47.6%			1.2%	0.	3%	0.2%	49.3%	24.	3%	3.5%	27.8%	77.1%	7.5%	1.4%	0.8%	4.1%	13.8%	9.0%	100%

鳥羽市の状況 松阪 地域 県立 地域外合計 ② 津 地域 県立 合計 (①+②+③) 県内私 立・高専、 県外 宇治山田 鳥羽 商船 明野 鳥羽 志摩 水産 阜學館 10 12 25 R7.3卒 119 50 0 67 11 36 103 0 119 21.0% 42.0% 10.1% 0% 0% 100% 0% 56.3% 30.3% 86.6% 3.4% 0.8% 4.2% 9.2% 13 11 0 12 3 7 R6.3卒 106 14 65 21 86 3 1 6 106 44.3% 13. 2% 3.8% 61.3% 11.3% 19.8% 81.1% 100%

志摩市の状況

								伊勢志	摩地域														
	卒業					県立高校						私立	高校・国立	[高専		地域内	松阪	*		日本が	地域外 合計	その他	스타
	者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内合計	地域県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		28	33	19	31	13		22	28			29	15										
R7.3卒	284			124			5	5	0	0	179	4	4	18	62	241	9	1	2	13	25	18	284
				43.7%			1.8%	17.	. 6%	0%	63.0%	15.	. 5%	6.3%	21.8%	84.9%	3.2%	0.4%	0.7%	4.6%	8.8%	6.3%	100%
		38	42	20	18	20		27	41			37	25										
R6.3卒	335			138			2	6	8	0	208	6	2	16	78	286	7	2	5	13	27	22	335
				41.2%			0.6%	20.	. 3%	0%	62.1%	18.	. 5%	4.8%	23.3%	85.4%	2.1%	0.6%	1.5%	3.9%	8.1%	6.6%	100%

玉城町の状況

_ ,,,,, ,, ,,			伊勢志摩地域																				
								伊勢志	摩地域														
	水 业					県立高校						私立	高校・国立	高専		地域内	#V RE	*		用曲衫	地域外	その他	스타
	卒業 者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内合計	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	地域外合計	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		19	13	10	8	6		0	0			7	12										
R7.3卒	157		56				2	()	9	67	1	9	5	24	91	28	7	1	17	53	13	157
			35. 7%				1.3%	0	%	5.7%	42.7%	12.	. 1%	3.2%	15.3%	58.0%	17.8%	4.5%	0.6%	10.8%	33.8%	8.3%	100%
		19	8	16	9	12		0	1			7	9										
R6.3卒	145			64			2		1	5	72	1	6	2	18	90	27	6	1	7	41	14	145
			44. 1%			1.4%	0.	7%	3.4%	49.7%	11.	. 0%	1.4%	12.4%	62.1%	18.6%	4.1%	0.7%	4.8%	28.3%	9.7%	100%	

度会町の状況

									伊勢志	摩地域														
		卒業					県立高校						私立	高校・国立	高専		地域内	部体	油		周山野	地域外	その他	승計
		卒業 者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内合計	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	地域外合計	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
			4	15	5	9	2		0	0			6	5										
F	R7.3卒	69		35				0	(0	7	42	1	1	3	14	56	6	0	0	2	8	5	69
				50. 7%				0%	0)%	10.1%	60.9%	15.	9%	4.3%	20.3%	81.2%	8.7%	0%	0%	2.9%	11.6%	7.2%	100%
			2	10	8	8	6		0	0			8	2										
F	R6.3卒	68			34			0	(0	4	38	1	0	2	12	50	5	0	0	5	10	8	68
				50.0%				0%	0)%	5.9%	55.9%	14.	7%	2.9%	17.6%	73.5%	7.4%	0%	0%	7.4%	14.7%	11.8%	100%

南伊勢町の状況

	/ 27 mj																							
П									伊勢志	摩地域														
		± *					県立高校						私立	高校・国立	Z高専		地域内	#V RE	*		原 中型	地域外	その他	△ =1
		卒業 者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内合計	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	地域外合計②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
			3	2	9	2	3		0	1			7	1										
	R7.3卒	43			19			0		1	3	23	8	3	1	9	32	4	0	1	4	9	2	43
					44.2%			0%	2.	3%	7.0%	53.5%	18.	. 6%	2.3%	20.9%	74.4%	9.3%	0%	2.3%	9.3%	20.9%	4.7%	100%
			4	5	0	7	8		4	3			8	4										
	R6.3卒	52			24			0	,	7	1	32	1	2	0	12	44	0	1	3	2	6	2	52
					46. 2%			0%	13.	.5%	1.9%	62%	23.	1%	0%	23, 1%	84 6%	0%	1.9%	5. 8%	3.8%	11.5%	3.8%	100%

大紀町

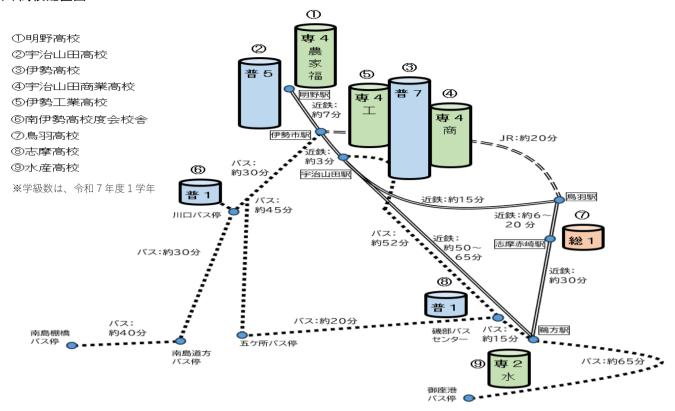
> 144																								
									伊勢志	摩地域														
		卒業					県立高校					_	私立	高校・国立	Z高専		地域内	松原	*		日本が	地域外	その他	소타
		者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治山田商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内合計	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	合計 ②	合計	合計 (①+②+③)
			2	1	1	0	0		0	0			0	6										
1	₹7.3卒	52		•	4	•		0	(0	1	5	(6	1	7	12	24	1	1	7	33	7	52
					7.7%			0%	()%	1.9%	9.6%	11.	. 5%	1.9%	13.5%	23.1%	46.2%	1.9%	1.9%	13.5%	63.5%	13.5%	100%
			2	0	1	0	1		0	0			2	5										
1	₹6.3卒	46			4			0	(0	0	4		7	0	7	11	26	0	1	5	32	3	46
					8.7%			0%	()%	0%	8. 7%	15.	2%	0%	15. 2%	23 9%	56.5%	0%	2. 2%	10.9%	69 6%	6.5%	100%

伊勢志摩地域の状況(総計)

								伊勢志	摩地域														
	众 士					県立高校					_	私立	高校・国立	高専		地域内	#/\ RE	:#			地域外	その他	스타
	卒業 者数	宇治 山田	伊勢	伊勢 工業	宇治 山田 商業	明野	鳥羽	志摩	水産	南伊勢 度会 校舎	県立高校 小計	皇學館	伊勢 学園	鳥羽 商船	私立 • 高専 小計	地域内 合計 ①	松阪 地域 県立	津 地域 県立	その他 県立	県内私 立・高専、 県外	地域外合計 ②	その他 合計 ③	合計 (①+②+③)
		154	259	145	130	119		25	34			216	128										
R7.3卒	1,753			807			29	5	9	32	927	34	14	71	415	1,342	126	21	8	119	274	137	1,753
				46.0%			1.7%	3.	4%	1.8%	52.9%	19.	6%	4.1%	23.7%	76.6%	7.2%	1.2%	0.5%	6.8%	15.6%	7.8%	100%
		159	249	119	124	124		33	50			198	158										
R6.3卒	1,727			775			30	8	3	12	900	35	56	63	419	1,319	141	24	21	79	265	143	1,727
				44.9%			1.7%	4.	8%	0.7%	52.1%	20.	6%	3.6%	24.3%	76.4%	8.2%	1.4%	1.2%	4.6%	15.3%	8.3%	100%

伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)への交通手段等

(1)高校配置図



(2)通学方法別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

	学校名	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計
	徒歩のみ	28	10	7	4	8	5	13	10	14	99
,	DE 30-0707	4.8%	1.2%	1.6%	0.8%	1.7%	6.4%	9.6%	11.0%	9.0%	3.0%
_	転車のみ	222	473	229	180	134	28	15	3	53	1,337
_	1 744 77-0707	37.8%	56.7%	51.6%	34.9%	28.8%	35.9%	11.0%	3.3%	34.2%	40.4%
	JRのみ	47	2	8	28	0	0	1	0	0	86
	UKUJ#F	8.0%	0.2%	1.8%	5.4%	0%	0%	0.7%	0%	0%	2.6%
	私鉄のみ	149	27	29	0	127	0	42	42	0	416
1	対象大のか	25.3%	3.2%	6.5%	0%	27.3%	0%	30.9%	46.2%	0%	12.6%
	パスのみ	34	36	10	49	0	24	5	22	48	228
4	ハヘいか	5.8%	4.3%	2.3%	9.5%	0%	30.8%	3.7%	24.2%	31.0%	6.9%
	船のみ	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
	加いか	0%	0.1%	0%	0%	0%	0%	0.7%	0%	0.6%	0.1%
	T1 A4	1	0	0	20	22	0	9	0	0	52
	私鉄	0.2%	0%	0%	3.9%	4.7%	0%	6.6%	0%	0%	1.6%
	*-	1	6	0	1	0	1	0	0	0	9
JRŁ	パス	0.2%	0.7%	0%	0.2%	0%	1.3%	0%	0%	0%	0.3%
		20	53	19	60	2	0	0	0	0	154
	自転車	3.4%	6.4%	4.3%	11.6%	0.4%	0%	0%	0%	0%	4.7%
	•-	10	13	3	10	38	1	0	2	11	88
	パス	1.7%	1.6%	0.7%	1.9%	8.2%	1.3%	0%	2.2%	7.1%	2.7%
	4.0	1	0	0	0	1	0	0	1	5	8
仏鉄と	船	0.2%	0%	0%	0%	0.2%	0%	0%	1.1%	3.2%	0.2%
		70	182	112	139	123	0	38	0	0	664
	自転車	11.9%	21.8%	25.2%	26.9%	26.4%	0%	27.9%	0%	0%	20.1%
	4n	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	船	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2.2%	0%	0%	0.1%
ベスと	* ***	3	22	24	8	0	4	0	0	8	69
	自転車	0.5%	2.6%	5.4%	1.6%	0%	5.1%	0%	0%	5.2%	2.1%
		0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
船と	自転車	0%	0.2%	0%	0%	0%	0%	0.7%	0%	0%	0.1%
	その他	2	7	3	17	11	15	8	11	15	89
車送迎、3	てい他 つ以上の交通機関等)	0.3%	0.8%	0.7%	3.3%	2.4%	19.2%	5.9%	12.1%	9.7%	2.7%
	合計	588	834	444	516	466	78	136	91	155	3.308

(3)通学費用別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計	積み上げ
不要	258	485	242	184	152	48	33	24	76	1,502	1,502
个安	43.9%	58.2%	54.5%	35.7%	32.6%	61.5%	24.3%	26.4%	49.0%	45.4%	45.4%
3.000円以内	33	24	15	14	26	0	1	3	0	116	1,618
3,000 MM	5.6%	2.9%	3.4%	2.7%	5.6%	0%	0.7%	3.3%	0%	3.5%	48.9%
5,000円以内	126	131	68	92	153	4	15	37	0	626	2,244
5,000 MM	21.4%	15.7%	15.3%	17.8%	32.8%	5.1%	11.0%	40.7%	0%	18.9%	67.8%
7,000円以内	108	103	73	110	71	1	74	4	0	544	2,788
7,000円級内	18.4%	12.4%	16.4%	21.3%	15.2%	1.3%	54.4%	4.4%	0%	16.4%	84.3%
9.000円以内	15	22	7	23	16	4	5	1	3	96	2,884
9,000 MM	2.6%	2.6%	1.6%	4.5%	3.4%	5.1%	3.7%	1.1%	1.9%	2.9%	87.2%
11,000円以内	8	10	6	12	8	3	4	2	21	74	2,958
11,000 MM	1.4%	1.2%	1.4%	2.3%	1.7%	3.8%	2.9%	2.2%	13.5%	2.2%	89.4%
13,000円以内	17	23	19	22	10	6	3	7	6	113	3,071
13,000円級内	2.9%	2.8%	4.3%	4.3%	2.1%	7.7%	2.2%	7.7%	3.9%	3.4%	92.8%
15,000円以内	19	26	10	30	12	6	0	11	14	128	3,199
10,000円級円	3.2%	3.1%	2.3%	5.8%	2.6%	7.7%	0%	12.1%	9.0%	3.9%	96.7%
15,001円以上	4	10	4	29	18	6	1	2	35	109	3,308
10,001円以上	0.7%	1.2%	0.9%	5.6%	3.9%	7.7%	0.7%	2.2%	22.6%	3.3%	100%
合計	588	834	444	516	466	78	136	91	155	3,308	3,308

[※]通学費用は1か月あたりの費用

(4)通学時間別生徒数と割合

R7. 5. 1 学校基本調査より

学校名時間	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計	積み上げ
15分以内	50	183	103	74	53	24	19	15	47	568	568
ТОЛИМ	8.5%	21.9%	23.2%	14.3%	11.4%	30.8%	14.0%	16.5%	30.3%	17.2%	17.2%
30分以内	198	264	149	132	158	23	22	30	36	1,012	1,580
007 AH	33.7%	31.7%	33.6%	25.6%	33.9%	29.5%	16.2%	33.0%	23.2%	30.6%	47.8%
45分以内	135	171	60	86	100	16	21	28	10	627	2,207
40/1/8/1	23.0%	20.5%	13.5%	16.7%	21.5%	20.5%	15.4%	30.8%	6.5%	19.0%	66.7%
60分以内	89	100	63	92	74	11	55	15	33	532	2,739
007,871	15.1%	12.0%	14.2%	17.8%	15.9%	14.1%	40.4%	16.5%	21.3%	16.1%	82.8%
90分以内	88	100	60	118	69	1	19	3	12	470	3,209
907/8/1	15.0%	12.0%	13.5%	22.9%	14.8%	1.3%	14.0%	3.3%	7.7%	14.2%	97.0%
120分以内	26	15	8	12	8	3	0	0	8	80	3,289
120/12/1	4.4%	1.8%	1.8%	2.3%	1.7%	3.8%	0%	0%	5.2%	2.4%	99.4%
121分以上	2	1	1	2	4	0	0	0	9	19	3,308
1217101	0.3%	0.1%	0.2%	0.4%	0.9%	0%	0%	0%	5.8%	0.6%	100%
合計	588	834	444	516	466	78	136	91	155	3,308	3,308

[※]通学時間は片道の所要時間

(5)自宅外通学生徒数

R7. 5. 1 学校基本調査より

(3) 日七八四十二亿	8 X							1 (/	· · T/K4	汁が明正のノ
学校名 費用	宇治山田	伊勢	伊勢工業	宇治山田 商業	明野	南伊勢 度会校舎	鳥羽	志摩	水産	合計
下宿	0	3	2	12	0	0	0	0	36	53
寄宿舎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	3	2	12	0	0	0	0	36	53

伊勢志摩地域の県立高等学校(全日制)のスクール・ポリシー

(1) 普通科·普通科系専門学科校

①グラデュエーション・ポリシー (育みたい資質・能力、生徒の姿)

<u> </u>	
高校名	内容
宇治山田	○志を持って、自ら学び、判断し、行動することができる生徒
	┃○豊かな人間性を備え、自らを律し、他者を思いやり、他者と協力することができる生徒
	○目標に向かって、失敗を恐れず努力し、諦めることなく挑戦を継続することができる生
伊勢	○高い志を抱いて、社会に貢献できる人を育てます。
	○自己の実現のために、自ら学び、考え、行動し、粘り強く努力する人を育てます。
	○知的探究心にあふれ、情操豊かで創造性に富んだ人を育てます。
南伊勢	○自立に向け、基本的生活習慣と基礎学力を身につけた生徒
	○自分の夢を明確にし、希望する進路に向け、自ら努力し続ける生徒
	○自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒
志摩	○地域に貢献したいという意欲を持つ生徒
	○自律・協調・敬愛の精神を持って社会で活躍できる生徒

②カリキュラム・ポリシー(高校での教育活動)

	ュフム・ホリン一(高仪での教育活動)
高校名	内容
宇治山田	○各教科や総合的な探究の時間、学校行事や生徒会活動など、学校生活全般にわたって、
	生徒が主体となって考え、協力して取り組む活動を充実し、学力の向上とともに、主体
	性、社会性、協調性などの育成に取り組みます。
	○国公立大学をはじめとした生徒の進路希望が実現できるよう、基礎・基本を大切にし、
	授業や指導方法の研究に取り組み、学校全体で計画的な指導を進めます。
	○生徒が安心して学校生活を送れるよう、教育相談の充実に取り組むとともに、人権教育
	やホームルーム活動、学校行事等を通じて、自他を大切にする心や行動力の育成に取り
	組みます。
伊勢	○授業内容や指導方法について研究を進め、主体的・対話的で深い学びにつながる、より よい教育を提供します。
	○教育環境の変化に的確に対応することもに、個々の生徒の布室に応じることができる教 育課程を編成し、PDCA サイクルによる継続的な検証・改善に努めます。
	○第Ⅲ期のスーパーサイエンスハイスクールとして、科学的リテラシーを持ち、持続可能
	な地域社会に貢献する人材を育成するカリキュラムの検証・改善を進めるとともに、取
	○マナーやルールを重視し、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会性の陶冶を図り
	ます。
	○特別教育活動を活性化させ、生徒の自主的な活動を促進することを通して、社会性とリ
	ーダーシップを育成します。
	○生徒の学ぶ力の育成に努めるとともに、多様な学習機会を提供し、生徒の進路実現につ
	なげます。
	○生命を大切にし、人権を尊重する教育を進めるとともに、ウェルビーイングを求め、た
	くましく生きる力を育成します。
南伊勢	○自他の命を尊重し、社会的自立に向けて基礎基本の学力と差別をなくす実践力を育む。
	○高い自己肯定感を持ち、自ら考え適切に行動できる力を育む。
	○個々の能力・適性に応じて、自らの将来を主体的に考え、希望進路の実現に向けて積極的
	に取り組む生徒を育成する。
	○基本的な生活習慣や社会的規律・礼儀をしっかりと身につけ、心身ともに健康な生徒を育
	成する。
	○校舎を取り巻く自然環境や文化を活かした教育活動を行う。
志摩	○基礎学力を向上させ、生徒の進路希望に応じた学習指導を行うとともに、創造的・論理
	的に考える力を育む学びを進め、より高度な学力獲得を目指す生徒にも応える体制を整
	える。
	○社会生活を営む上で欠かせない社会常識と行動力を身につけた、即戦力となる人材を育
	てる。
	○地域探究学習「志摩学」や地域と関わる活動を通して、地域の実情を理解し、地域と連携
	し活性化に取り組む姿勢を育てる。

③アドミッション・ポリシー (入学時に求める生徒の姿)

高校名	内容
宇治山田	○自ら考え、学ぶことができる生徒
	○他者を思いやり、他者と協力することができる生徒
	○目標に向かって、挑戦し続けることができる生徒
伊勢	○将来の進路実現に向けて、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒
	○自主的・自律的に行動できる生徒
	○他者との関わりを大切にし、互いの個性を認め合いながら、協働して物事に取り組むこ
	とができる生徒
南伊勢	○目的意識を明確にもち、自己実現に向けて意欲的に取り組める者
	○体験学習など、地域に根ざした教育活動に積極的に取り組む意欲のある者
	○スポーツ・文化活動やボランティア活動または生徒会活動に積極的に取り組む意欲のあ
	る者
志摩	○目標を持って学習する意欲ある生徒
	○興味関心を持った課題について探究しようとする生徒
	○基本的な生活習慣と思いやりの心が身についた生徒

(2) 専門学科校

①グラデュエーション・ポリシー (育みたい資質・能力、生徒の姿)

高校名	内容
伊勢工業	○基本的生活習慣を身につけ、社会常識のある明るく素直な生徒(ひとづくり)
	○産業界から求められる技術・技能習得の意欲あふれる生徒(ものづくり)
	○自他の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒
宇治山田	○自他を尊重し、規範意識を大切にする人間性豊かな生徒
商業	○自己実現に向けて主体的・創造的・積極的に挑戦し、活力ある姿勢や態度を有する生徒
	○探究的な学習、地域や国際交流活動等を通して「企画力」「調整力」「実践力」「突破力」
	「地域への貢献力」等を備えている生徒
明野	○各分野の資格等を積極的に習得し、専門知識や技能を生かし、自立した社会人と して
	地域に貢献し、地域を支え、地域とともに生きていくことができる生徒
	○様々な課題を自分事として捉え、主体的に行動し、自己実現を図ることができる生徒
	○学ぶ楽しさを知り、社会的・職業的自立に向けた取組ができる生徒
	○社会人としてのマナーを身につけるとともによりよく生きる力を自ら育むこと のでき
	る生徒
水産	○水産・海洋に関する知識・技術の習得を通し、水産・海洋関連分野のリーダーとして活
	躍できる生徒
	○特に、以下に示す「3つの力」を身につけた生徒
	①考え抜く力 ②チームで働く力 ③前に踏み出す力

②カリキュラム・ポリシー(高校での教育活動)

高校名	内容
伊勢工業	○「ものづくり」が好きで、学校での学習や地域での体験を基に自信が成長できる、生徒
	から望まれる学校づくりを行う。その「ものづくり」をとおして生徒が主体的に新しい
	資質・能力を学ぶ成長できる場を設ける。
	○分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本
	の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図る。
	○基本的生活習慣と身だしなみや挨拶などの社会常識を身につけた、明るく素直で、自他
	の命を尊重し、差別をなくす実践力と高い自己肯定感を有する生徒を育成する。
宇治山田	○生徒の自主性、主体性、創造性を育み、積極的に自己を高めていくため、ICT機器の
商業	効果的な活用による学習活動の工夫や学校行事、部活動の振興等を通じ、人間性豊かで
	活力に満ちた学校生活の実現に努める。
	○地域との連携を通じた教育活動を充実させ、生徒の課題解決力や探究力、自己表現力の
	向上や、キャリア教育の更なる充実を図るとともに、生徒の希望・適性に応じた進路実
	現につなげ、地域社会の発展に貢献できる自立した人材を輩出する商業高校を目指す。
明野	○各分野において実践的・体験的な学習活動を通して、社会を支え産業の発展を担う職業
	人を育成する。
	〇生徒一人ひとりの個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達 を支え、
	生徒が自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える。
水産	○水産・海洋関連分野で活躍できる知識と技術を習得するため、水産科の専門科目を適切
	に配置し、3年間をとおして系統的・組織的な教育活動を行う。
	○専門的な学習の基盤となる基礎学力の定着を図るため、少人数による授業を実施すると
	ともに、到達度テストや個別最適な課題等により基礎学力の向上を図る。
	○地域や大学と連携した授業や実習、探究活動、インターンシップ等を積極的に実施し、
	キャリア教育の充実を図る。
	○実践的な教育を通じて専門的な知識と技術を習得し、水産、海洋、船舶、食品加工、増
	養殖等の各分野で活躍するための資格取得を推奨し支援する。

③アドミッション・ポリシー (入学時に求める生徒の姿)

	フョン・ホリン (八子時に不める主張の安/ _{中央}
高校名	内容
伊勢工業	○「ものづくり」をとおして自己実現したいと考えている生徒
	○伊勢志摩を中心とした地域で活躍し、地域のリーダーになりたいと考える生徒
	○自他の命を尊重し、学業、部活動や校外活動に取り組みたい生徒
宇治山田	○学習意欲が高く、入学後も目標達成に向けた努力を継続できる生徒
商業	○探究活動に意欲的に取り組むことができる生徒
	○スポーツ・文化活動やボランティア活動、生徒会活動等に意欲をもって取り組む姿勢を
	有する生徒
	○学科の特性を生かして、大学進学や就職等の進路希望を実現しようとする生徒
明野	〔生産科学科、食品科学科、生活教養科、福祉科共通〕
	○基本的生活習慣及び社会性が身についている者
	○スポーツや文化活動等に優れており、入学後も継続して活動する者
	(生産科学科)
	○将来、農業自営者となり、地域のリーダーを目指す者
	○動植物の飼育・栽培に興味・関心があり、積極的に実習に取り組むことができる者
	○農業に関連した職業や農業関連学科への進学を目指す者
	○資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者
	(食品科学科)
	○将来、食品関連会社で製造や研究に取り組む技術者を目指す者
	○食の安全への意識が強く、清潔な身なりや整理整頓ができる者
	○与えられた仕事を最後までやり遂げる忍耐力と責任感がある者
	○資格取得や検定合格に積極的に取り組むことができる者
	(生活教養科)
	○衣・食に興味・関心があり、高校生活にしっかりとした目的・目標をもつ者
	○将来、専門性を生かした就職や進学を目指す者
	○全ての教科に対して、真面目かつ意欲的で、資格取得に積極的に取り組むことができ
	る者
	(福祉科)
	○福祉に興味・関心があり、意欲的に学習に取り組むことができる者
	○将来、福祉分野で活躍しようという希望をもっている者
	○資格取得に積極的に取り組むことができる
水産	○規範意識や基本的生活習慣が身についている生徒
	○水産・海洋関連分野に興味・関心を有する生徒
	○他者と協働しながら、何事に対しても粘り強く、取り組むことができる生徒
	○向上心を持ち、新たなことに挑戦しようとする意欲を持つ生徒

(3)総合学科校

①グラデュエーション・ポリシー(育みたい資質・能力、生徒の姿)

_	
高校名	名 内容
鳥羽	○地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する鳥羽高生
	○進路実現に向け、基礎的・総合的な学力を身につけた鳥羽高生
	○社会的・職業的自立に向け、必要な規範意識と態度を身につけた鳥羽高生
	○これからの社会で活躍するための「7 つの力」を身につけた鳥羽高生
	①行動力 ②思考力 ③コミュニケーション能力 ④創造力 ⑤表現力
	⑥自己肯定力 ⑦自己管理力

②カリキュラム・ポリシー (高校での教育活動)

高校名	内容										
鳥羽	○地域社会で貢献できる人材育成を目指し、体験的な教育活動を推進										
	○生徒一人ひとりの進路実現を目指し、基礎・基本の定着を図る取組を推進										
	○自己の生き方・在り方の認識を目指し、自他の理解や良好な人間関係形成するための人										
	権意識を高める学習活動を推進										
	<具体的な教育活動>										
	・探究活動(産業社会と人間、総合的な探究の時間、鳥羽学)、 系列授業、自由選択科										
	目、就業体験学習(観光・福祉)等										
	・少人数教育、基礎学力診断、基礎力勉強会 等										
	・人権 LHR、部活動、交流、講演 等										

③アドミッション・ポリシー(入学時に求める生徒の姿)

高校名	内容
鳥羽	○総合学科の学習内容に興味・関心があり、意欲を持って学習に取り組める生徒
	○学習を通して、積極的に進路実現を目指す生徒
	○部活動またはボランティア活動等について、積極的に活動する意欲のある生徒
	○規範意識や基本的生活習慣を身につけ、学校生活に積極的に取り組める生徒
	○将来、地域社会で活躍し、地域に貢献しようとする意欲のある生徒

学校教育法施行規則 第百三条の二

高等学校は、当該高等学校、全日制の課程、定時制の課程若しくは通信制の課程又は学科ごとに、次に掲げる方針を定め、公表するものとする。

- 一 高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針
- 二 教育課程の編成及び実施に関する方針
- 三 入学者の受入れに関する方針

3つの方針(スクール・ポリシー)

①育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)

各高等学校に期待される社会的役割等に基づき、生徒の卒業後の姿を見据えて、学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定める基本的な方針となるもの

②教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針を達成するために、どのような教育課程を編成し、実施 し、学習評価を行うのかを定める基本的な方針となるもの

③入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

各高等学校に期待される社会的役割等や、育成を目指す資質・能力に関する方針と教育課程の 編成及び実施に関する方針に基づく教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本 的な方針となるもの

伊勢志摩地域の県立高校(全日制)卒業生の進路状況

(1)令和7年3月卒

学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭	24	16	48	66	3	157
971±1/	福祉	15.3%	10.2%	30.6%	66 3 1 6 42.0% 1.9% 10 1 2 1 0.5% 1.0% 10 2 19 2 0.7% 6.9% 10 43 0 1 5 27.2% 0% 10 118 0 1 6 79.2% 0% 10 24 0 3 77.4% 0% 10 22 2 3 59.5% 5.4% 10 28 0 2	100%	
宇治山田	普通	170	8	16	1	2	197
十九山山	日地	86.3%	4.1%	8.1%	0.5%	1.0%	100%
伊勢	普通	242	8	3	2	19	274
アデ	日四	88.3%	2.9%	1.1%	0.7%	6.9%	100%
宇治山田商	商業	89	4	22	43	0	158
十九四四冏	尚未	56.3%	2.5%	13.9%	27.2%	0%	100%
伊勢工	工業	15	0	16	118	0	149
アガエ	工未	10.1%	0%	10.7%	79.2%	0%	100%
南伊勢	普通	3	1	3	24	0	31
(度会・南勢)	日地	9.7%	3.2%	9.7%	77.4%	0%	100%
鳥羽	総合	1	4	8	22	2	37
河 27	165 口	2.7%	10.8%	21.6%	59.5%	5.4%	100%
志摩	普通	9	3	13	20	2	47
心净	百週	19.1%	6.4%	27.7%	42.6%	4.3%	100%
水産	水産	4	9	8	28	0	49
小生	小庄	8.2%	18.4%	16.3%	57.1%	0%	100%

普通科計	424	20	35	47	23	549
自地行前	77.2%	3.6%	6.4%	8.6%	4.2%	100%
専門学科計	132	29	94	255	3	513
寺 门子行前	25.7%	5.7%	18.3%	49.7%	0.6%	100%
総合学科計	1	4	8	22	2	37
松口于行门	2.7%	10.8%	21.6%	59.5%	5.4%	100%
合計	557	53	137	324	28	1,099
口前	50.7%	4.8%	12.5%	29.5%	2.5%	100%

[※]上段は人数、下段は卒業者数に対する割合を表す

(2)令和6年3月卒

(<u>2) 令和6年3月</u>	<u> </u>						
学校名	学科	四年制大学	短大等	専門学校等	就職	その他	卒業者数
明野	農業 家庭	12	15	37	81	5	150
197±}	福祉	8.0%	10.0%	37 81 5 15 24.7% 54.0% 3.3% 100 11 2 4 19 5.7% 1.0% 2.1% 100 4 1 28 27 1.5% 0.4% 10.3% 100 31 40 3 15 20.1% 26.0% 1.9% 100 21 113 1 15 13.4% 72.0% 0.6% 100 6 21 3 3 17.1% 60.0% 8.6% 100 8 24 0 30 20.5% 61.5% 0% 100 17 22 0 40 34.7% 44.9% 0% 100 8 29 2 50	100%		
宇治山田	普通	169	7	11	2	4	193
十/4四四	百週	87.6%	3.6%	5.7%	1.0%	2.1%	100%
伊勢	普通	239	1	4	1	28	273
12分	百週	87.5%	0.4%	1.5%	0.4%	10.3%	100%
宇治山田商	商業	73	7	31	40	3	154
十九四四间	问未	47.4%	4.5%	20.1%	26.0%	1.9%	100%
伊勢工	工業	18	4	21	113	1	157
カガエ		11.5%	2.5%	13.4%	72.0%	0.6%	100%
南伊勢	普通	4	1	6	21	3	35
(度会・南勢)	日坦	11.4%	2.9%	17.1%	60.0%	8.6%	100%
鳥羽	総合	3	4	8	24	0	39
局初	₩ □	7.7%	3.6% 5.7% 1.0% 2.1% 1 1 4 1 28 2 0.4% 1.5% 0.4% 10.3% 1 7 31 40 3 4 4.5% 20.1% 26.0% 1.9% 1 4 21 113 1 1 2.5% 13.4% 72.0% 0.6% 1 1 6 21 3 2 2.9% 17.1% 60.0% 8.6% 1 4 8 24 0 10.3% 20.5% 61.5% 0% 1 4 17 22 0 8.2% 34.7% 44.9% 0% 1 17 8 29 2	100%			
志摩	普通	6	4	17	22	0	49
心净	日理	12.2%	8.2%	34.7%	44.9%	0%	100%
水産	水産	2	17	8	29	2	58
小庄	小庄	3.4%	29.3%	13.8%	50.0%	3.4%	100%

普通科計	418	13	38	46	35	550
自地行前	76.0%	2.4%	6.9%	8.4%	6.4%	100%
専門学科計	105	43	97	263	11	519
等门子 符制	20.2%	8.3%	18.7%	50.7%	2.1%	100%
総合学科計	3	4	8	24	0	39
小心口于行口	7.7%	10.3%	20.5%	61.5%	0%	100%
合計	526	60	143	333	46	1,108
ΠĀI	47.5%	5.4%	12.9%	30.1%	4.2%	100%

^{※「}四年制大学」は大学校を含む

^{※「}短大等」は専攻科、高専を含む

^{※「}その他」は進学待機を含む

学校規模と教育環境について

1 教員数

(1)教職員定数

各学校に配置される教職員定数の標準は、法律により、入学定員(≒学級 数)に応じて定められています。

全日制普通科の場合

	1															
1 学年 あたりの 学級数	1学	級	2 学級		3 学級		4 学級 5		5学級 6学		級	級 7学級		8学級		
教員数 (人)	8		15		23	}	29		35		43	}	48		52	2
差			7		8		6		6		8		5		4	

- ※ 校長、教頭、養護教諭、実習助手、事務職員を除く
- ※ 上記以外に学科による加算や加配教員、非常勤講師等の配置があります ※ あくまで標準であり、すべての学校がこの人数に一致するわけではありません

(2) 学級数別の各教科担当教員の配置シミュレーション(全日制普通科)

1 学年 あたりの 学級数	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級
計	8	15	23	29	35	43	48	52
国語	1	2	4	5	5	7	7	8
数学	2	3	4	5	6	7	8	9
英語	2	3	4	5	6	7	8	9
社会	1	2	3	4	5	6	6	7
理科	1	2	3	4	5	6	7	8
保体	1	2	3	3	4	5	6	6
芸術	0	1	1	1	2	3	3	3
家庭	0	0	1	1	1	1	1	1
情報	0	0	0	1	1	1	1	1

- ※1~7学級の教科別教員数については、県内の8学級の高校の教科別教員数を参 考に算出
- ※国語・数学・英語は学年あたりの配置人数が1、2、3人で色分け
- ※社会は地歴科と公民科から構成しており、地歴科では日本史、世界史、地理を専 門とする教員を5人、公民科では1人を配置できる6人と、地歴3人、公民1人 を配置できる4人で色分け
- ※理科は物理、化学、生物を専門とする教員が2人ずつ配置できる6人と、 1人ずつの3人で色分け
- ※保健体育は学年あたりの人数が2人、1人で色分け
- ※芸術は音楽、美術、書道の教員が1人ずつ配置できる3人で色分け
- ※この表はシミュレーションであり、実際は学校ごとに教育課程などが異なるた め、教員数の合計、教科別の人数ともこのとおりとは限りません。

2 部活動

R4学校規模別部活動設置状況(男子)マネージャー含む

	第1学	年学級	数		1	2	3	4	5	6	7	8
	学	校数			2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合	登録 人数								
1	硬式野球	53	98. 1%	1, 393	2	7	2	8	12	7	8	7
2	バスケットボール	47	87.0%	918	1	6	2	8	10	5	8	7
3	陸上競技	46	85. 2%	824	2	4	2	7	10	6	8	7
4	卓球	42	77.8%	682	1	4	2	5	10	5	8	7
5	バドミントン	41	75.9%	1, 130	0	6	0	6	11	4	7	7
6	サッカー	39	72.2%	1, 515	0	2	2	5	10	5	8	7
7	テニス	34	63.0%	513	0	2	2	4	8	4	8	6
8	バレーボール	33	61.1%	627	1	2	0	5	7	4	7	7
9	ソフトテニス	31	57.4%	518	1	4	0	6	5	4	5	6
10	剣道	27	50.0%	177	0	0	1	4	5	5	5	7
11	ハンドボール	20	37.0%	472	0	0	0	1	4	4	5	6
12	柔道	20	37.0%	146	1	1	0	2	8	1	3	4
13	弓道	19	35. 2%	348	0	0	1	4	5	3	5	1
14	山岳(ワンタ゚ーフォーケ゚ル)	12	22.2%	148	0	0	0	2	1	2	3	4
15	ラグビー	10	18.5%	207	0	0	0	1	3	1	2	3
16	水泳	10	18.5%	87	0	0	0	3	1	0	2	4
17	ダンス	9	16.7%	39	0	0	0	0	4	1	2	2
18	レスリング	7	13.0%	53	0	1	0	1	4	0	1	0
19	軟式野球	6	11.1%	104	0	0	0	0	1	1	2	2
20												
	設置部活動の	7	11	8	18	19	17	19	18			
	設置部活	動の全種	重類		7	15	9	22	28	23	26	22

R4学校規模別部活動設置状況(文化部)

	校規模別部活動	年学級		10 417/	1	2	3	4	5	6	7	8
		校数	~		2	7	2	9	12	7	8	7
No		競技・種目 設置 設置 登録 学校数 割合 人数						,	12	,	U	,
1	美術	子校叙 47	87.0%	634	0	5	2	8	10	7	8	7
2	吹奏楽	44	81. 5%	1, 347	1	2	1	8	11	6	8	7
3	茶道	38	70.4%	536	1	4	2	5	8	5	7	6
4	書道	36	66. 7%	351	0	2	2	5	9	5	6	7
5	放送	0	1	0	4	9	5	7	5			
6	写真	24	44.4%	586	0	2	0	4	6	6	4	2
7	家庭	2	3	2	3	3	2	2	2			
8	演劇	19	35. 2%	214	0	0	0	2	5	3	4	5
9	ボランティア	13	24. 1%	205	0	3	1	1	3	3	1	1
10	華道	13	24. 1%	136	0	1	1	2	4	3	2	0
11	コンピュータ	11	20.4%	147	1	1	0	1	3	2	2	1
12	文芸	11	20.4%	106	0	1	0	0	0	2	3	5
13	アニメ・漫画	10	18.5%	197	0	1	0	0	3	2	3	1
14	人権サークル	10	18.5%	44	0	0	1	2	3	2	2	0
15	調理	9	16. 7%	236	0	0	0	1	2	1	2	3
16	英語	9	16. 7%	101	0	2	0	1	2	0	1	3
17	合唱	9	16.7%	64	0	0	0	1	2	1	4	1
18	新聞	8	14.8%	67	0	0	0	0	3	2	2	1
19	邦楽	7	13.0%	91	0	1	0	0	1	0	0	5
20	自然科学	0	0	0	1	1	0	2	3			
	設置部活動の	4	14	8	16	19	17	19	18			
	設置部活	動の全種	重類		4	19	9	30	37	33	32	31

R4学校規模別部活動設置状況(女子)マネージャー含む

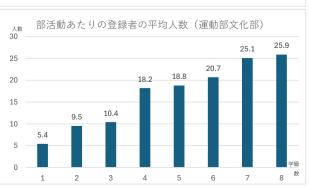
	第1学	年学級	1	2	3	4	5	6	7	8		
	学	校数			2	7	2	9	12	7	8	7
No	競技・種目	設置 学校数	設置 割合	登録 人数								
1	陸上競技	41	75. 9%	486	1	3	1	6	9	6	8	7
2	バドミントン	39	72.2%	913	0	5	0	7	10	4	6	7
3	バスケットボール	39	72.2%	575	2	2	0	5	10	6	7	7
4	卓球	37	68.5%	334	0	1	2	5	8	6	8	7
5	バレーボール	34	63.0%	533	1	1	0	5	7	6	7	7
6	テニス	29	53. 7%	316	0	1	1	3	5	6	7	6
7	ソフトテニス	28	51.9%	279	1	3	0	5	5	5	4	5
8	剣道	25	46.3%	135	0	0	1	2	4	5	6	7
9	弓道	17	31.5%	334	0	0	1	3	5	2	5	1
10	ハンドボール	15	27.8%	255	0	0	0	0	3	3	4	5
11	ダンス	12	22.2%	403	0	0	0	0	5	1	3	3
12	ソフトボール	12	22.2%	188	0	0	0	2	3	3	2	2
13	柔道	12	22.2%	38	0	0	0	1	4	2	1	4
14	水泳	10	18.5%	54	0	0	0	3	0	1	2	4
15	硬式野球	9	16.7%	24	0	1	0	1	3	3	0	1
16	サッカー	7	13.0%	93	0	1	0	0	2	0	1	3
17	体操	5	9.3%	66	0	0	0	1	1	0	1	2
18	空手道	5	9.3%	57	0	0	0	0	0	1	2	2
19	山岳(ワンタ゚ーフォーケ゚ル)	5	9.3%	31	0	0	0	1	1	0	0	3
20												
	設置部活動の	4	9	5	15	17	16	17	19			
	設置部活	動の全種	重類		4	11	6	17	25	21	25	21

○1学年あたりの学級数別の部活動の状況

(令和4年度三重県学校体育・部活動実態調査より)







(1) 紀北地域の再編

		再編前(前年度)					再編後 (実施年度)			
実施年度	学校名	科・コース		学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		備考
H13	尾鷲高校	普通科 商業科	5 2	7 (280人)	1	尾鷲高校	普通科商業科	5	8	
1110	尾鷲工業高校	機械設備システム科 電気情報システム科	1 1	2 (80人)		化馬可仅	システム工学科	2	(320人)	
H17	尾鷲高校	普通科 プログレッシブコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 1	7 (280人)	-	尾鷲高校	普通科 プログレッシブコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 1	8 (320人)	
	長島高校	普通科 福祉・情報コース	1 1	2 (80人)		尾鷲高校長島校	普通科	1		
H20	尾鷲高校	普通科 プログレッシブコース 情報ビジネス科 システム工学科	3 1 2 1	8 (320人)	Ì	尾鷲高校	普通科 プログレッシブコース 情報ビジネス科	3 1 2 1	7 (280人)	
	尾鷲高校長島校	普通科	1				システム工学科	1		

(2) 松阪地域の再編

		再編前(前年度)					再編後(実施年度)						
実施年度	学校名	科・コース		学級数 (入学定員)		学校名	科・コース		学級数 (入学定員)	備考			
H21	相可高校	普通科 生産経済科 環境創造科 食物調理科	3 1 1 1	6 (240人)	+	相可高校	普通科 生産経済科 環境創造科	4 1 1	7 (280人)				
HZI	宮川高校	普通科	2	2 (80人)			食物調理科	1					

(3) 伊勢志摩地域の再編

		再編前(前年度)					再編後 (実施年度)			
実施年度	学校名	科・コース	(学級数 (入学定員)		学校名	科・コース	学級数 (入学定員)		備考
	南勢高校	普通科	2	2 (80人)		南伊勢高校南勢校舎	普通科	2	2 (80人)	
H16	度会高校	普通科	2	2 (80人)	-	度会校舎	普通科	2	2 (80人)	
	南島高校	普通科	1	1 (40人)		南島校舎	普通科	1	1 (40人)	
	南伊勢高校南勢校舎	普通科	2	2 (80人)		南伊勢高校南勢校舎	普通科	2	2 (80人)	
H19	度会校舎	普通科	2	2 (80人)	-	度会校舎	普通科	2	2 (80人)	
	南島校舎	普通科	1	1 (40人)						
R6	南伊勢高校南勢校舎	普通科	1	1 (40人)	_	南伊勢高校南勢校舎				
1.00	度会校舎	普通科	1	1 (40人)		度会校舎	普通科	1	1 (40人)	

(4) 伊賀地域の再編

		再編前 (前年度)								
実施年度	学校名	科・コース		学級数 (入学定員)		学校名	科・コース		学級数 (入学定員)	備考
	上野農業高校	食農科学科 景観園芸科	1 1	2 (80人)			機械科	1		
H21	上野工業高校	機械科 住環境工学科 電子機械科	1 1 1	3 (120人)	-	伊賀白鳳高校	電子機械科 工芸デザイン科 生物資源科	1 1 1		※前期選抜では学科別、後 期選抜ではくくり募集を実
	上野商業高校	情報ビジネス科 健康生活科 福祉科 普通科	1 1 1 1	4 (160人)			フードシステム科 経営科 ヒューマンサービス科	1 1 1	(200)()	施
H28	名張西高校	普通科 情報科 英語科	2 1 1	4 (160人)	1	名張青峰高校	普通科 文理探究コース	7	8 (320人)	
1120	名張桔梗丘高校	普通科	4	4 (160人)			文生味光 ニーハ	1	(320)()	

(5) 紀南地域の再編

		再編前(前年度)					再編後(実施年度)			
実施年度			学級数 (入学定員)		学校名	科・コース		学級数 (入学定員)	備考	
R7	木本高校	普通科 総合学科	3 1	4 (160人)	1	熊野青藍高校木本校舎	普通科 総合学科	3 1	4 (160人)	
IX7	紀南高校	普通科	2	2 (80人)	_	紀南校舎	総合学科	1	1 (40人)	

